

令和 7 事業年度業務実績報告書

令和 8 年 6 月

地方独立行政法人東金九十九里地域医療センター

地方独立行政法人東金九十九里地域医療センターの概要

1. 法人現況

(1) 法人名：地方独立行政法人東金九十九里地域医療センター

(2) 所在地：千葉県東金市丘山台三丁目6番地2

(3) 設 立：平成22年10月1日法人設立

(4) 役員の状況(令和8年3月31日現在)

理事長：河野 陽一

理 事：岩立 康男、久保 俊明、古川 洋一郎（非常勤）、渡辺 尚子（非常勤）、堀角 達朗（非常勤）、
並木 佳久（非常勤）、秋葉 哲生（非常勤）、伊藤 彰一（非常勤）

監 事：樋口 幸一（非常勤）

(5) 職員数(令和8年3月31日現在)

常勤職員：543人 非常勤職員：192人

2. 病院現況

(1) 病院の概要

病院名：東千葉メディカルセンター

所在地：千葉県東金市丘山台三丁目6番地2

開 院：平成26年4月1日開院

病床数：310床

（一般278床、救命救急センター20床（ICU8床・HCU12床）、SCU12床）

診療科： 25科

医 師：218人（常勤 80人（臨床研修医6人を含む） 非常勤138人）

看護師：323人（常勤306人 非常勤17人）

医療技術職員・事務職員：194人（常勤157人 非常勤37人）

(2) 基本理念

患者の権利を尊重し、救急医療・急性期医療を核とした地域中核病院として地域住民に信頼される高度で安全な医療を行います。

(3) 基本方針

- 救命救急センターを併設して24時間、365日の救急医療の提供を行います。
- 高度な専門医療の提供を行い、地域住民の生命と健康を守ります。
- 常に安全・安心の医療を行います。
- 患者の権利を尊重し、常に患者第一の医療提供を行います。
- 医療連携を推進し、地域の患者により良い医療を提供します。
- 地域の中核病院として、地域医療機関と密接な連携を図ります。
- 医療従事者の教育・研修に努め、継続的に地域における医療の質の向上を図ります。
- 千葉大学医学部・同附属病院と密接に連携して診療を行います。
- 健全経営に努めるとともに、生き生きとした職場づくりに努めます。
- 地域の保健・医療に貢献するため、地域中核病院としての役割を担います。

年度計画

項目番号			年 度 計 画	地方独立行政法人	評価委員会評価	
大	中	小	内 容	自己評価	評 価	評価の判断理由・評価に対するコメントなど
1			住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためとるべき措置			
	1		救急医療		5	
			三次救急医療の役割を担い、ヘリポートを併設する救命救急センターとして、重篤救急患者に対して24時間365日体制で高度で専門的な医療を提供し、広域的な患者の受入れに対応する。 地域医療機関との連携を強化する中で二次救急医療等については、他の病院群輪番制病院及び夜間急病診療所（山武郡市広域行政組合）等の後方ベッドとしての役割を充実させるとともに、病院群輪番制に積極的に参加する。 また、救急患者や重篤紹介患者などの受入れを円滑に行えるよう、地域のメディカルコントロール協議会の活用や地域医療連携室からの情報発信等を通じて、消防や医師会等の関係機関との地域医療連携の強化を図り、救急車応需率の向上に努める。	24時間365日体制で高度で専門的な医療を維持し、三次救急患者の受入れを中心に「断らない医療」を目指し取り組んだ。救急応需件数は前年度から増加した。また、令和7年度より診療看護師（NP）が2名配属となり、診療看護師（NP）当直時の管内救急応需率はほぼ100%となっている。これらより、地域における三次救急医療機関として大きな役割を果たした。 また、地域のメディカルコントロール協議会の中核病院として、救急救命士へ「気管挿管実習」を継続して実施し、地域の救急医療に貢献した。 ・救急科・集中治療部常勤医師 7人 ・ICU 8床 ・HCU 12床 ・SCU 12床 ・気管挿管実習 32回 ・救急搬送受入数 4,915人 - 内訳 救急車 3,142人 - ウォークイン 1,727人 - ドクターヘリ 46人 （山武郡市広域行政組合管内及び管外搬送含む） ・山武郡市二次救急医療輪番受入患者数 415人 ・山武郡市休日当番受入患者数 302人 ・紹介患者の救急搬送受入数 670人	5	

		＜関連する計画数値＞ <table><tr><th>事 項</th><th>令和 7 年度計画</th></tr><tr><td>救急車搬送受入患者数</td><td>3, 1 0 0 人</td></tr><tr><td>ウォークイン受入患者数</td><td>2, 2 0 0 人</td></tr><tr><td>救急車応需率</td><td>6 0 . 0 %</td></tr><tr><td>三次救急搬送応需率</td><td>8 0 . 0 %</td></tr></table>	事 項	令和 7 年度計画	救急車搬送受入患者数	3, 1 0 0 人	ウォークイン受入患者数	2, 2 0 0 人	救急車応需率	6 0 . 0 %	三次救急搬送応需率	8 0 . 0 %	＜計画に対する実績等＞ <table><tr><th>事 項</th><th>令和 7 年度実績</th></tr><tr><td>救急車搬送受入患者数 (主な救急搬送受入地域)</td><td>3, 1 4 2 人 (山武郡市 1,963 人) (長生郡市 700 人)</td></tr><tr><td>ウォークイン受入患者数</td><td>1, 7 2 7 人</td></tr><tr><td>救急車応需率</td><td>6 3 . 0 %</td></tr><tr><td>三次救急搬送応需率</td><td>8 8 . 0 %</td></tr><tr><td>救急発生件数</td><td>4, 9 4 2 件 (令和 6 年度 5, 3 8 6 件)</td></tr><tr><td>救急応需件数</td><td>3, 1 2 8 件 (令和 6 年度 2, 7 8 8 件)</td></tr></table>	事 項	令和 7 年度実績	救急車搬送受入患者数 (主な救急搬送受入地域)	3, 1 4 2 人 (山武郡市 1,963 人) (長生郡市 700 人)	ウォークイン受入患者数	1, 7 2 7 人	救急車応需率	6 3 . 0 %	三次救急搬送応需率	8 8 . 0 %	救急発生件数	4, 9 4 2 件 (令和 6 年度 5, 3 8 6 件)	救急応需件数	3, 1 2 8 件 (令和 6 年度 2, 7 8 8 件)		
事 項	令和 7 年度計画																												
救急車搬送受入患者数	3, 1 0 0 人																												
ウォークイン受入患者数	2, 2 0 0 人																												
救急車応需率	6 0 . 0 %																												
三次救急搬送応需率	8 0 . 0 %																												
事 項	令和 7 年度実績																												
救急車搬送受入患者数 (主な救急搬送受入地域)	3, 1 4 2 人 (山武郡市 1,963 人) (長生郡市 700 人)																												
ウォークイン受入患者数	1, 7 2 7 人																												
救急車応需率	6 3 . 0 %																												
三次救急搬送応需率	8 8 . 0 %																												
救急発生件数	4, 9 4 2 件 (令和 6 年度 5, 3 8 6 件)																												
救急応需件数	3, 1 2 8 件 (令和 6 年度 2, 7 8 8 件)																												
2		地域の中核病院として担うべき医療		4																									
	(1)	小児医療・小児救急医療 外来治療に重点を置きつつ、急性疾患を中心に入院治療にも対応した小児医療を提供する。 また、救命救急センターにおいて、小児科専門医と救急専門医の協力体制のもと小児救急医療を提供する。 ＜関連する計画数値＞ <table><tr><th>事 項</th><th>令和 7 年度計画</th></tr><tr><td>小児入院患者数</td><td>7 0 0 人</td></tr><tr><td>小児外来患者数</td><td>8, 0 0 0 人</td></tr></table>	事 項	令和 7 年度計画	小児入院患者数	7 0 0 人	小児外来患者数	8, 0 0 0 人	小児医療・小児救急医療 感染症等の急性疾患とともに神経疾患やアレルギー疾患等について診療を行った。外来を中心に入院や救急対応も行い、地域の小児医療体制を維持した。 ・小児科常勤医師 3 人 ＜計画に対する実績等＞ <table><tr><th>事 項</th><th>令和 7 年度実績</th></tr><tr><td>小児入院患者数</td><td>6 1 9 人</td></tr><tr><td>小児外来患者数</td><td>7, 0 8 3 人</td></tr></table>	事 項	令和 7 年度実績	小児入院患者数	6 1 9 人	小児外来患者数	7, 0 8 3 人	4													
事 項	令和 7 年度計画																												
小児入院患者数	7 0 0 人																												
小児外来患者数	8, 0 0 0 人																												
事 項	令和 7 年度実績																												
小児入院患者数	6 1 9 人																												
小児外来患者数	7, 0 8 3 人																												
	(2)	周産期医療 正常分娩を中心に対応した周産期医療及び一般不妊治療を提供する。 また、自治体担当部局と連携し、子育てに不安を感じる産婦が安心して子育てをすることができるよう、日帰り型、宿泊型等の産後ケア事業を提供する。	周産期医療 東金・九十九里地域を含む産婦人科医療過疎地域の周産期医療を支援するため、産婦人科医師が 2 4 時間 3 6 5 日体制で周産期医療を提供した。合併症妊婦にも対応し、早産など新生児集中治療室（N I C U）の管理が必要な妊婦に関しては新生児集中治療室を持つ病院と連携し、治療体制の確保に取り組んだ。 また、令和 7 年度の東金市・九十九里町における出生数のうち、当センターで分娩した割合は、東金市は 4	4																									

			4. 1 %、九十九里町は3 2. 0 %であった。 産後ケア事業については、行政と連携し、産前・産後の母子へのサポートを実施した。 ・産婦人科常勤医師 5 人 〃 外来延患者数 7, 1 6 4 人 〃 入院延患者数 3, 5 0 6 人 ・手術件数 2 9 4 件															
		〈関連する計画数値〉 <table><tr><td>事 項</td><td>令和7年度計画</td></tr><tr><td>分娩件数</td><td>4 2 0 件</td></tr><tr><td>産後ケア事業受入数</td><td>1 0 0 件</td></tr></table>	事 項	令和7年度計画	分娩件数	4 2 0 件	産後ケア事業受入数	1 0 0 件	〈計画に対する実績等〉 <table><tr><td>事 項</td><td>令和7年度実績</td></tr><tr><td>分娩件数</td><td>2 9 0 件</td></tr><tr><td>産後ケア事業受入数</td><td>1 7 2 件</td></tr></table>	事 項	令和7年度実績	分娩件数	2 9 0 件	産後ケア事業受入数	1 7 2 件			
事 項	令和7年度計画																	
分娩件数	4 2 0 件																	
産後ケア事業受入数	1 0 0 件																	
事 項	令和7年度実績																	
分娩件数	2 9 0 件																	
産後ケア事業受入数	1 7 2 件																	
	(3)	災害医療 地域災害拠点病院として、災害時には医療救護活動の拠点としての機能を担うとともに、千葉大学医学部附属病院のDMAT（災害派遣医療チーム）との密接な関連のもとDMATの派遣など、医療救護活動を行う。 災害時にその機能を十分に発揮できるように、平時においても、緊急時における連絡体制の確保、院内災害訓練の実施やDMAT隊員の訓練研修等への参加、医療物資や飲料水等の備蓄、関係機関との協定による優先的な補給体制の確保など、災害医療に対応可能な体制を整備する。 また、業務継続計画（BCP）に基づく被災を想定した研修、訓練を継続的に進めた上で、計画の見直しを実施し、実効性を図る。	災害医療 地域災害拠点病院として、DMATチームを編成していることから、国内で発生した大規模災害への応援要請に的確に対応できるように、内閣府主催の訓練をはじめ、千葉県内外で開催されるDMATやCLDMATの養成研修や実働訓練等へ、チーム又は隊員を派遣した。 災害発生に備えた医薬品等の備蓄の点検や、災害時に対応可能な体制確保の維持に努め、優先的な補給体制を確保するため、非常用発電機の備蓄燃料供給に係る協定を令和7年7月に締結した。 業務継続計画（BCP）に基づく被災を想定した研修、訓練を継続的に実施した。 ・DMAT 1 1 人 ・CLDMAT 1 1 人 ・DMAT訓練派遣 2回 延6 人参加 ・CLDMAT養成研修等講師派遣 3回 延1 2 人派遣 ・災害用備蓄食料・飲料 缶詰（クラッカー） 3, 2 9 0 食 缶詰（シチュー） 3, 2 8 0 食 レトルト食品 2, 7 7 0 食 水（5 0 0 mL） 7, 7 5 2 本	4														

			・山武郡市広域水道企業団との上水供給協定を締結している。															
		＜関連する計画数値＞ <table><tr><th>事 項</th><th>令和7年度計画</th></tr><tr><td>院内災害訓練</td><td>2回</td></tr><tr><td>DMA T隊員の訓練・研修参加者数</td><td>40人</td></tr></table>	事 項	令和7年度計画	院内災害訓練	2回	DMA T隊員の訓練・研修参加者数	40人	＜計画に対する実績等＞ <table><tr><th>事 項</th><th>令和7年度実績</th></tr><tr><td>院内災害訓練</td><td>2回</td></tr><tr><td>DMA T隊員の訓練・研修参加者数</td><td>42人</td></tr></table>	事 項	令和7年度実績	院内災害訓練	2回	DMA T隊員の訓練・研修参加者数	42人			
事 項	令和7年度計画																	
院内災害訓練	2回																	
DMA T隊員の訓練・研修参加者数	40人																	
事 項	令和7年度実績																	
院内災害訓練	2回																	
DMA T隊員の訓練・研修参加者数	42人																	
	(4)	感染症医療 結核に関しては結核患者収容モデル病床にて、結核患者に対応した医療を提供する。 H I V（ヒト免疫不全ウイルス）感染症に関しては千葉大学医学部附属病院と連携して対応する。 また、新型コロナウイルス感染症等の住民の生命や健康の安全を脅かす新たな感染症に対し、地域医療機関、県及び自治体等の関係機関と相互に連携を図るとともに、感染状況や地域におけるメディカルセンターの機能等を踏まえ、入院要請等に可能な限り応えられるよう必要かつ柔軟な体制を維持する。	感染症医療 結核については、地域の医療機関等と連携し地域医療連携室が窓口となることにより、他の患者等への感染防止の徹底に努め、結核患者モデル病床にて結核患者に対応した医療を提供した。また、結核患者の治癒完遂を目指して、地域の保健所と連携を図った。 H I V（ヒト免疫不全ウイルス）感染症に関しては、千葉県エイズ中核拠点病院である千葉大学医学部附属病院と連携して対応することとしている。 感染症に対しては地域医療機関、県及び自治体等の関係機関と相互に連携を図り、感染状況の把握に努めるとともに、発熱外来を設置し、陰圧装置設置病床を確保するなど、対応する体制を維持した。	4														
	3	高度専門医療		5														
	(1)	4疾病（がん、脳卒中、急性心筋梗塞及び糖尿病）への対応 ア がん 消化器がん（食道、胃、大腸、直腸、肝、胆道、膵(すい)等）に対応し、病態に応じて、内視鏡治療、外科手術、化学療法及び緩和ケア医療を提供するとともに、放射線治療を必要とする場合は必要に応じて千葉大学医学部附属病院等と連携して治療を行う。 がん検診の精密検査については、上記に加え、肺がん、子宮がん及び乳がんについても対	4疾病（がん、脳卒中、急性心筋梗塞及び糖尿病）への対応 ア がん 消化器がん（食道、胃、大腸、直腸、肝、胆道、膵等）に対応し、症状に応じた高度な専門的治療を行った。また、がん検診の精密検査については、上記に加え、肺がん、子宮がん、乳がんについても対応している。 多様なニーズに対するセミナーを年間を通して開催し、がん等の診療に携わる医療従事者の知識や技術の向上に努めた。	5														

	応する。 また、がん診療に対する医療従事者の充実や育成に努める。 イ 脳卒中 脳卒中等の脳血管疾患については、24時間365日体制で迅速な診断、治療をはじめ、特に増加傾向にある脳梗塞患者に対するt-PA（血栓溶解薬）の急性期静脈内投与や血行再建術等の治療を行う。 また、急性期医療に重点を置くため、地域医療機関と連携し回復期の患者の受入先を確保する。 ウ 急性心筋梗塞 急性心筋梗塞については、24時間365日体制で冠動脈カテーテル療法をはじめとする各種治療法による急性期医療を中心に提供する。 エ 糖尿病 糖尿病については、症状の悪化に伴い救急搬送された患者に対応した急性増悪時治療を中心に提供する。 多職種連携によるチーム医療を実践し、コントロール困難症例や妊娠合併例など専門性を要	・肝胆膵疾患（胆石除く） 56件 ・化学療法 1, 162件 ・設立団体がん検診（乳がん・子宮がん） 74件 イ 脳卒中 脳神経内科・脳神経外科が共同チームとして診療にあたっている。また、脳卒中ケアユニット（SCU・12床）により、治療・看護・早期リハビリ等の分野におけるチーム医療を提供し、治療期間の短縮に努めた。 <table><tr><td></td><td>令和6年度</td><td>令和7年度</td></tr><tr><td>脳神経内科常勤医師</td><td>3人</td><td>3人</td></tr><tr><td>〃 外来延患者数</td><td>3, 204人</td><td>3, 450人</td></tr><tr><td>〃 入院延患者数</td><td>5, 819人</td><td>7, 142人</td></tr><tr><td>脳神経外科常勤医師</td><td>5人</td><td>4人</td></tr><tr><td>〃 外来延患者数</td><td>3, 284人</td><td>3, 237人</td></tr><tr><td>〃 入院延患者数</td><td>10, 622人</td><td>9, 985人</td></tr><tr><td>SCU入院延患者数</td><td>3, 086人</td><td>3, 075人</td></tr></table> ウ 急性心筋梗塞 体制を24時間365日維持し、冠動脈カテーテル療法をはじめとする各種治療法を実施した。 <table><tr><td></td><td>令和6年度</td><td>令和7年度</td></tr><tr><td>循環器内科常勤医師</td><td>4人</td><td>5人</td></tr><tr><td>〃 外来延患者数</td><td>6, 306人</td><td>6, 693人</td></tr><tr><td>〃 入院延患者数</td><td>5, 118人</td><td>6, 534人</td></tr><tr><td>心臓カテーテル検査・治療</td><td>451件</td><td>612件</td></tr><tr><td>アブレーション治療</td><td>99件</td><td>100件</td></tr></table> エ 糖尿病 症状の悪化に伴い救急搬送された患者に対応した急性増悪時治療を提供するとともに、糖尿病性腎症患者に対する透析を行った。 また、外来・入院診療では糖尿病療養指導士の資格を持つスタッフを中心とした糖尿病治療支援チームによる		令和6年度	令和7年度	脳神経内科常勤医師	3人	3人	〃 外来延患者数	3, 204人	3, 450人	〃 入院延患者数	5, 819人	7, 142人	脳神経外科常勤医師	5人	4人	〃 外来延患者数	3, 284人	3, 237人	〃 入院延患者数	10, 622人	9, 985人	SCU入院延患者数	3, 086人	3, 075人		令和6年度	令和7年度	循環器内科常勤医師	4人	5人	〃 外来延患者数	6, 306人	6, 693人	〃 入院延患者数	5, 118人	6, 534人	心臓カテーテル検査・治療	451件	612件	アブレーション治療	99件	100件	
	令和6年度	令和7年度																																											
脳神経内科常勤医師	3人	3人																																											
〃 外来延患者数	3, 204人	3, 450人																																											
〃 入院延患者数	5, 819人	7, 142人																																											
脳神経外科常勤医師	5人	4人																																											
〃 外来延患者数	3, 284人	3, 237人																																											
〃 入院延患者数	10, 622人	9, 985人																																											
SCU入院延患者数	3, 086人	3, 075人																																											
	令和6年度	令和7年度																																											
循環器内科常勤医師	4人	5人																																											
〃 外来延患者数	6, 306人	6, 693人																																											
〃 入院延患者数	5, 118人	6, 534人																																											
心臓カテーテル検査・治療	451件	612件																																											
アブレーション治療	99件	100件																																											

	する症例に対する診療を提供する。 また、急性期医療に重点を置くため、維持透析療法が必要な患者については地域医療機関と連携し受入先を確保する。 なお、予防に向けた取組として、糖尿病教室を開催し、地域住民の健康維持や健康寿命の延伸などに貢献する。 ＜関連する計画数値＞ <table><tr><th>事 項</th><th>令和 7 年度計画</th></tr><tr><td>消化器悪性腫瘍手術件数</td><td>1 1 0 件</td></tr><tr><td>t－P A療法件数</td><td>2 5 件</td></tr><tr><td>血管内手術件数 (血栓回収術)</td><td>2 0 件</td></tr><tr><td>冠動脈形成術（P C I）</td><td>1 2 0 件</td></tr><tr><td>血液浄化（HD）件数</td><td>1 4 0 件</td></tr><tr><td>〃 （CHDF）</td><td>1 0 0 件</td></tr></table>	事 項	令和 7 年度計画	消化器悪性腫瘍手術件数	1 1 0 件	t－P A療法件数	2 5 件	血管内手術件数 (血栓回収術)	2 0 件	冠動脈形成術（P C I）	1 2 0 件	血液浄化（HD）件数	1 4 0 件	〃 （CHDF）	1 0 0 件	多職種連携によるチーム医療を実践し、1 型糖尿病やコントロール困難症例、妊娠合併例、脂質異常症など専門性を要する症例に対する診療を行った。 地域住民向けの糖尿病教室を開催し、健康維持や医療情報提供に努めた。 <table><tr><td></td><td>令和 6 年度</td><td>令和 7 年度</td></tr><tr><td>代謝・内分泌内科常勤医師</td><td>4 人</td><td>4 人</td></tr><tr><td>〃 外来延患者数</td><td>6, 1 0 3 人</td><td>6, 3 5 7 人</td></tr><tr><td>〃 入院延患者数</td><td>1, 3 4 1 人</td><td>1, 0 4 4 人</td></tr></table> ＜計画に対する実績等＞ <table><tr><th>事 項</th><th>令和 7 年度実績</th></tr><tr><td>消化器悪性腫瘍手術件数</td><td>9 4 件</td></tr><tr><td>t－P A療法件数</td><td>4 件</td></tr><tr><td>血管内手術件数 (血栓回収術)</td><td>6 件</td></tr><tr><td>冠動脈形成術（P C I）</td><td>1 8 1 件</td></tr><tr><td>血液浄化（HD）件数</td><td>1 3 4 件</td></tr><tr><td>〃 （CHDF）</td><td>4 4 2 件</td></tr></table>		令和 6 年度	令和 7 年度	代謝・内分泌内科常勤医師	4 人	4 人	〃 外来延患者数	6, 1 0 3 人	6, 3 5 7 人	〃 入院延患者数	1, 3 4 1 人	1, 0 4 4 人	事 項	令和 7 年度実績	消化器悪性腫瘍手術件数	9 4 件	t－P A療法件数	4 件	血管内手術件数 (血栓回収術)	6 件	冠動脈形成術（P C I）	1 8 1 件	血液浄化（HD）件数	1 3 4 件	〃 （CHDF）	4 4 2 件		
事 項	令和 7 年度計画																																											
消化器悪性腫瘍手術件数	1 1 0 件																																											
t－P A療法件数	2 5 件																																											
血管内手術件数 (血栓回収術)	2 0 件																																											
冠動脈形成術（P C I）	1 2 0 件																																											
血液浄化（HD）件数	1 4 0 件																																											
〃 （CHDF）	1 0 0 件																																											
	令和 6 年度	令和 7 年度																																										
代謝・内分泌内科常勤医師	4 人	4 人																																										
〃 外来延患者数	6, 1 0 3 人	6, 3 5 7 人																																										
〃 入院延患者数	1, 3 4 1 人	1, 0 4 4 人																																										
事 項	令和 7 年度実績																																											
消化器悪性腫瘍手術件数	9 4 件																																											
t－P A療法件数	4 件																																											
血管内手術件数 (血栓回収術)	6 件																																											
冠動脈形成術（P C I）	1 8 1 件																																											
血液浄化（HD）件数	1 3 4 件																																											
〃 （CHDF）	4 4 2 件																																											
(2)	高度で専門性の高い医療 ア 高度な総合医療 入院や手術を中心とした急性期医療を安定的に提供するとともに、各診療科の体制を整備し、外来診療については地域医療機関との役割分担のもと紹介外来や専門外来を中心に行うことで、地域の中核病院として高度な総合医療を提供する。 イ チーム医療の推進 医療の高度化及び複雑化に対応し、病院の総合力によって患者中心で質の高い医療を提供できるように、感染制御チーム、栄養サポートチ	高度で専門性の高い医療 ア 高度な総合医療 地域医療機関との役割分担できるよう近隣の診療所や他院と連携することで、急性期医療の安定提供及び地域の中核病院として高度な総合医療を提供した。 イ チーム医療の推進 感染制御チーム、抗菌薬適正使用支援チーム、栄養サポートチーム、糖尿病治療支援チーム、褥瘡対策チームなど多種多様な医療従事者が、適切な業務分担のうえ互	5																																									

		ーム等のチーム医療体制を推進する。 ウ 高度専門医療の充実 医療需要の質的及び量的な変化や新たな医療課題に適切かつ柔軟に対応するため、必要に応じて診療科の再編や病院機能の充実又は見直しを行い、より高度な専門医療を提供する。 また、法律等に基づく指定医療機関の指定や各種学会による施設認定を維持するとともに、新規の指定及び認定を目指す。 ＜関連する計画数値＞ <table><tr><th>事 項</th><th>令和7年度計画</th></tr><tr><td>MR I 件数</td><td>7, 9 0 0 件</td></tr><tr><td>C T 件数</td><td>1 6, 5 0 0 件</td></tr><tr><td>I V R 件数</td><td>1 8 0 件</td></tr><tr><td>手術全身麻酔件数</td><td>1, 5 0 0 件</td></tr><tr><td>栄養サポートチーム介入件数</td><td>1 1 0 件</td></tr><tr><td>指定医療機関及び施設認定の数</td><td>4 2 件</td></tr></table>	事 項	令和7年度計画	MR I 件数	7, 9 0 0 件	C T 件数	1 6, 5 0 0 件	I V R 件数	1 8 0 件	手術全身麻酔件数	1, 5 0 0 件	栄養サポートチーム介入件数	1 1 0 件	指定医療機関及び施設認定の数	4 2 件	いに連携、補完しあい、患者一人ひとりの状況に的確に対応した患者中心で質の高い医療を提供した。 また、感染制御チームを中心に感染症発生状況の監視や各部署における感染防止対策等を講じ、院内感染防止対策の向上を図った。 ウ 高度専門医療の充実 泌尿器科及び眼科を開設し、病床については、令和7年5月に24床、令和7年11月に7床を計画的に増やし、高度な専門医療体制の構築を図った。 また、各種学会等による施設認定の維持に努めた。 ＜計画に対する実績等＞ <table><tr><th>事 項</th><th>令和7年度実績</th></tr><tr><td>MR I 件数</td><td>7, 4 5 8 件</td></tr><tr><td>C T 件数</td><td>1 6, 9 6 7 件</td></tr><tr><td>I V R 件数</td><td>8 2 件</td></tr><tr><td>手術全身麻酔件数</td><td>1, 6 4 5 件</td></tr><tr><td>栄養サポートチーム介入件数</td><td>7 5 件</td></tr><tr><td>指定医療機関及び施設認定の数</td><td>4 2 件</td></tr></table>	事 項	令和7年度実績	MR I 件数	7, 4 5 8 件	C T 件数	1 6, 9 6 7 件	I V R 件数	8 2 件	手術全身麻酔件数	1, 6 4 5 件	栄養サポートチーム介入件数	7 5 件	指定医療機関及び施設認定の数	4 2 件		
事 項	令和7年度計画																																
MR I 件数	7, 9 0 0 件																																
C T 件数	1 6, 5 0 0 件																																
I V R 件数	1 8 0 件																																
手術全身麻酔件数	1, 5 0 0 件																																
栄養サポートチーム介入件数	1 1 0 件																																
指定医療機関及び施設認定の数	4 2 件																																
事 項	令和7年度実績																																
MR I 件数	7, 4 5 8 件																																
C T 件数	1 6, 9 6 7 件																																
I V R 件数	8 2 件																																
手術全身麻酔件数	1, 6 4 5 件																																
栄養サポートチーム介入件数	7 5 件																																
指定医療機関及び施設認定の数	4 2 件																																
4		安全・安心で信頼される医療		5																													
	(1)	医療安全対策の徹底 ア 医療安全対策の徹底 医療安全管理委員会を活用し、より実効性のある医療安全対策を実施する。特に、インシデント・アクシデント（医療事故）等の医療安全上の問題点については、情報の収集、分析及び結果の検証を行うとともに、ホームページで公	医療安全対策の徹底 ア 医療安全対策の徹底 医療安全管理室によるインシデント・アクシデントレポート等の収集、分析及び結果の検証を行い、東千葉メディカルセンター医療安全管理指針に基づきホームページ上にて公表し、併せて再発防止対策を院内に周知した。	5																													

	表するなど医療安全対策を徹底する。 また、医療安全管理マニュアル等の各種マニュアルを適宜見直すとともに、職員を対象とした医療安全研修を実施し、医療安全に対する共通理解と知識の向上を図る。	また、医療安全管理を推進し安全な医療を提供するため、医療安全対策マニュアルを見直すとともに、職員の医療安全に関する知識の向上を図るため、全職員を対象として医療法に基づく医療安全研修を実施した。 ・インシデント・アクシデント公表数（3 b 以上） <table><tr><td></td><td>令和6年度</td><td>令和7年度</td></tr><tr><td>合計</td><td>11件</td><td>19件</td></tr><tr><td>治療・処置に関すること</td><td>5件</td><td>8件</td></tr><tr><td>療養上の世話　〃</td><td>1件</td><td>5件</td></tr><tr><td>薬剤　〃</td><td>1件</td><td>0件</td></tr><tr><td>ドレーン・チューブ　〃</td><td>3件</td><td>2件</td></tr><tr><td>その他</td><td>1件</td><td>4件</td></tr></table>		令和6年度	令和7年度	合計	11件	19件	治療・処置に関すること	5件	8件	療養上の世話　〃	1件	5件	薬剤　〃	1件	0件	ドレーン・チューブ　〃	3件	2件	その他	1件	4件				
	令和6年度	令和7年度																									
合計	11件	19件																									
治療・処置に関すること	5件	8件																									
療養上の世話　〃	1件	5件																									
薬剤　〃	1件	0件																									
ドレーン・チューブ　〃	3件	2件																									
その他	1件	4件																									
	イ 院内感染防止対策の徹底 感染制御チームや感染管理委員会等により、問題点の把握、分析、それらに対する改善策を講ずるとともに、認定看護師の配置や他の医療機関との相互チェック体制を推進するなど、より実効性のある院内感染防止対策を徹底する。 また、院内感染防止に関する教育及び啓発を実施し、感染予防を組織的に取り組んでいく。 なお、院内感染防止に関するマニュアルを適宜見直すとともに院内感染が発生した場合はマニュアルに基づき適切に対処する。	イ 院内感染防止対策の徹底 感染対策チームを中心とした感染防止対策の実践、及び発生時の迅速な対応、耐性菌の蔓延抑制等を行い、可及的速やかに特定、制圧、終息できる体制の構築に努めた。 また、全職員を対象として医療法に基づく感染対策研修を実施し、感染予防に取り組んだほか、安否確認システムを活用し、職員の体調確認を行った。 ・感染管理認定看護師の配置　1人 ・感染対策向上に係る相互評価　1回 （国立病院機構下志津病院）																									
	＜関連する計画数値＞ <table><tr><td>事　　項</td><td>令和7年度計画</td></tr><tr><td>医療安全職員研修</td><td>2回</td></tr><tr><td>医療安全職員研修参加率</td><td>100.0%</td></tr><tr><td>I C Tラウンド数</td><td>50回以上</td></tr><tr><td>感染対策職員研修</td><td>2回</td></tr><tr><td>感染対策職員研修参加率</td><td>100.0%</td></tr></table>	事　　項	令和7年度計画	医療安全職員研修	2回	医療安全職員研修参加率	100.0%	I C Tラウンド数	50回以上	感染対策職員研修	2回	感染対策職員研修参加率	100.0%	＜計画に対する実績等＞ <table><tr><td>事　　項</td><td>令和7年度実績</td></tr><tr><td>医療安全職員研修</td><td>2回</td></tr><tr><td>医療安全職員研修参加率</td><td>100.0%</td></tr><tr><td>I C Tラウンド数</td><td>51回</td></tr><tr><td>感染対策職員研修</td><td>2回</td></tr><tr><td>感染対策職員研修参加率</td><td>100.0%</td></tr></table>	事　　項	令和7年度実績	医療安全職員研修	2回	医療安全職員研修参加率	100.0%	I C Tラウンド数	51回	感染対策職員研修	2回	感染対策職員研修参加率	100.0%	
事　　項	令和7年度計画																										
医療安全職員研修	2回																										
医療安全職員研修参加率	100.0%																										
I C Tラウンド数	50回以上																										
感染対策職員研修	2回																										
感染対策職員研修参加率	100.0%																										
事　　項	令和7年度実績																										
医療安全職員研修	2回																										
医療安全職員研修参加率	100.0%																										
I C Tラウンド数	51回																										
感染対策職員研修	2回																										
感染対策職員研修参加率	100.0%																										

				※研修はeラーニングの他、動画視聴が困難な職員 に対しては映像による講演を実施してフォローを 行っている。											
		(2)	患者の視点に立った医療の実践 医療の中心は患者であるという認識のもと、 患者やその家族が自ら受ける治療の内容に納得 し、治療及び検査の選択についてその意思を尊 重するため、インフォームド・コンセントを徹底 する。 また、患者やその家族からの意見、要望等 については、患者サービス向上委員会でその内容 等を検証し、医療現場にフィードバックするこ とにより、提供する医療サービスを向上させる。 ＜関連する計画数値＞ <table><tr><td>事 項</td><td>令和7年度計画</td></tr><tr><td>患者満足度調査（医師の 症状・治療内容等の説明 に係る満足の割合）</td><td>90.0%以上</td></tr></table>	事 項	令和7年度計画	患者満足度調査（医師の 症状・治療内容等の説明 に係る満足の割合）	90.0%以上	患者の視点に立った医療の実践 インフォームド・コンセントを徹底するとともに、患 者やその家族、関係者と互いに情報共有し、常に患者の 自己決定権を尊重し、患者第一とする医療の提供に努め た。 また、患者サービス向上委員会を中心に満足度調査等 を実施し医療サービスの向上を図る中で、患者からの要 望に対応するため、関係部署とワークフローの確認と情 報共有を行った。 ・患者満足度調査回答数 1,256件 回答率 79.5% ・意見箱回収数 94件 ＜計画に対する実績等＞ <table><tr><td>事 項</td><td>令和7年度実績</td></tr><tr><td>患者満足度調査（医師の 症状・治療内容等の説明 に係る満足の割合）</td><td>84.1% (入院86.7%) (外来81.5%)</td></tr></table>	事 項	令和7年度実績	患者満足度調査（医師の 症状・治療内容等の説明 に係る満足の割合）	84.1% (入院86.7%) (外来81.5%)	4		
事 項	令和7年度計画														
患者満足度調査（医師の 症状・治療内容等の説明 に係る満足の割合）	90.0%以上														
事 項	令和7年度実績														
患者満足度調査（医師の 症状・治療内容等の説明 に係る満足の割合）	84.1% (入院86.7%) (外来81.5%)														
		(3)	医療の標準化と診療情報の分析 客観的な根拠に基づく最適な医療を選択し、 質の高い医療の提供及び患者の負担軽減を図る ため、EBM（科学的な根拠に基づく医療）を 推進し、学会の診療ガイドライン等に基づいた クリニカルパスを積極的に活用する。 また、DPC（診断群分類別包括評価）の対 象病院として、医療の標準化と質の向上を図る とともに、診療データの分析及び活用を行う。 ＜関連する計画数値＞ <table><tr><td>事 項</td><td>令和7年度計画</td></tr><tr><td>クリニカルパス適用件数</td><td>2,000件</td></tr></table>	事 項	令和7年度計画	クリニカルパス適用件数	2,000件	医療の標準化と診療情報の分析 クリニカルパス推進委員会を中心に策定した共通及び 診療科ごとのクリニカルパスを積極的に活用し、医療の 効率性及び安全性の向上を図った。また、DPCの対象 病院として、診療データの分析・活用に努めた。 ＜計画に対する実績等＞ <table><tr><td>事 項</td><td>令和7年度実績</td></tr><tr><td>クリニカルパス適用件数</td><td>2,312件</td></tr></table>	事 項	令和7年度実績	クリニカルパス適用件数	2,312件	5		
事 項	令和7年度計画														
クリニカルパス適用件数	2,000件														
事 項	令和7年度実績														
クリニカルパス適用件数	2,312件														

5	患者・住民サービスの向上		4													
(1)	利用しやすい病院づくり 患者や来院者が快適に過ごせるよう、患者のプライバシーに配慮した院内環境及びアメニティを整備するとともに、高齢者や障害者が安心して医療を受けられる体制を整備する。 広報紙の発行やホームページを活用し、メディカルセンターの診療情報等をリアルタイムに提供する。 また、患者や来院者を対象とした意見箱の設置及び患者満足度調査を実施することにより、意見及び要望を収集し、その結果を患者サービス向上委員会で検証するなどして患者サービスを向上させるとともに、総合受付や地域医療連携室等において相談体制をより一層充実させる。 ＜関連する計画数値＞ <table><tr><th>事 項</th><th>令和 7 年度計画</th></tr><tr><td>ホームページ閲覧数</td><td>8 0 0 , 0 0 0 件</td></tr><tr><td>住民からの意見・要望の検証</td><td>6 回</td></tr></table>	事 項	令和 7 年度計画	ホームページ閲覧数	8 0 0 , 0 0 0 件	住民からの意見・要望の検証	6 回	利用しやすい病院づくり 患者や来院者が院内で快適に過ごせるような環境作りを常に意識し、院内環境の整備を図った。 また、患者サービス向上委員会を中心に患者満足度調査を実施するとともに、意見箱から収集した意見等を検証し、患者サービスの向上に努めた。 当センターの診療に係る速報性の高い情報については、ホームページを活用し情報の提供を実施した。 ＜計画に対する実績等＞ <table><tr><th>事 項</th><th>令和 7 年度実績</th></tr><tr><td>ホームページ閲覧数</td><td>7 1 8 , 5 2 6 件</td></tr><tr><td>住民からの意見・要望の検証</td><td>6 回</td></tr></table>	事 項	令和 7 年度実績	ホームページ閲覧数	7 1 8 , 5 2 6 件	住民からの意見・要望の検証	6 回	4	
事 項	令和 7 年度計画															
ホームページ閲覧数	8 0 0 , 0 0 0 件															
住民からの意見・要望の検証	6 回															
事 項	令和 7 年度実績															
ホームページ閲覧数	7 1 8 , 5 2 6 件															
住民からの意見・要望の検証	6 回															
(2)	患者や来院者の待ち時間への配慮 医師、看護師等の医療従事者と事務職員との連携強化及び役割分担の明確化などにより窓口業務を効率化する。 ＜関連する計画数値＞ <table><tr><th>事 項</th><th>令和 7 年度計画</th></tr><tr><td>患者満足度調査 （外来診療に係る待ち時間 3 0 分未満の割合）</td><td>3 8 . 0 % 以上</td></tr><tr><td>患者満足度調査 （会計手続に係る待ち時間 1 0 分未満の割合）</td><td>3 5 . 0 % 以上</td></tr></table>	事 項	令和 7 年度計画	患者満足度調査 （外来診療に係る待ち時間 3 0 分未満の割合）	3 8 . 0 % 以上	患者満足度調査 （会計手続に係る待ち時間 1 0 分未満の割合）	3 5 . 0 % 以上	患者や来院者の待ち時間への配慮 医療従事者と事務職員との連携強化や、自動受付機と会計番号システムとの連動による業務の効率化により、各種待ち時間の短縮に努めた。 ＜計画に対する実績等＞ <table><tr><th>事 項</th><th>令和 7 年度実績</th></tr><tr><td>患者満足度調査 （外来診療に係る待ち時間 3 0 分未満の割合）</td><td>4 3 . 2 %</td></tr><tr><td>患者満足度調査 （会計手続に係る待ち時間 1 0 分未満の割合）</td><td>3 0 . 6 %</td></tr></table>	事 項	令和 7 年度実績	患者満足度調査 （外来診療に係る待ち時間 3 0 分未満の割合）	4 3 . 2 %	患者満足度調査 （会計手続に係る待ち時間 1 0 分未満の割合）	3 0 . 6 %	5	
事 項	令和 7 年度計画															
患者満足度調査 （外来診療に係る待ち時間 3 0 分未満の割合）	3 8 . 0 % 以上															
患者満足度調査 （会計手続に係る待ち時間 1 0 分未満の割合）	3 5 . 0 % 以上															
事 項	令和 7 年度実績															
患者満足度調査 （外来診療に係る待ち時間 3 0 分未満の割合）	4 3 . 2 %															
患者満足度調査 （会計手続に係る待ち時間 1 0 分未満の割合）	3 0 . 6 %															

	(3)	患者や来院者の利便性への配慮 送迎バスの運行を維持し、院内の掲示案内等をよりわかりやすく改善する。 ＜関連する計画数値＞ <table><tr><td>事 項</td><td>令和7年度計画</td></tr><tr><td>送迎バス利用者数</td><td>1, 7 0 0 人</td></tr></table>	事 項	令和7年度計画	送迎バス利用者数	1, 7 0 0 人	患者や来院者の利便性への配慮 更なる来院者の利便性向上のため、患者の会計終了時間や公共交通機関の運行状況を基に、無料送迎車両の増便を含めた運行ダイヤ改正に向け調整を行った。 また、院内においては、デジタルサイネージにより様々な情報を配信し、患者等に安心して診療を受けてもらえる環境を整備した。 ・送迎バス稼働日数 2 4 2 日 ＜計画に対する実績等＞ <table><tr><td>事 項</td><td>令和7年度実績</td></tr><tr><td>送迎バス利用者数</td><td>2, 0 3 3 人</td></tr></table>	事 項	令和7年度実績	送迎バス利用者数	2, 0 3 3 人	5					
事 項	令和7年度計画																
送迎バス利用者数	1, 7 0 0 人																
事 項	令和7年度実績																
送迎バス利用者数	2, 0 3 3 人																
	(4)	住民への保健医療情報の提供 住民対象の公開講座や糖尿病教室等については、感染予防対策を講じた上で、充実した情報を提供するとともに、ホームページの活用等により保健医療情報を発信し、住民の医療や健康に対する意識の啓発を行う。 ＜関連する計画数値＞ <table><tr><td>事 項</td><td>令和7年度計画</td></tr><tr><td>公開講座</td><td>1 0 回</td></tr><tr><td>糖尿病教室</td><td>4 回</td></tr></table>	事 項	令和7年度計画	公開講座	1 0 回	糖尿病教室	4 回	住民への保健医療情報の提供 住民の医療や健康に対する意識の啓発については、広報紙及びホームページを活用し医療情報等を発信した。 地域住民向けの糖尿病教室や公開講座を開催し、健康維持や医療情報の提供に努めた。また、令和7年度は、院内開催のほかに東金中央コミュニティセンター及び九十九里町中央公民館において、出張糖尿病教室を開催した。 ＜計画に対する実績等＞ <table><tr><td>事 項</td><td>令和7年度実績</td></tr><tr><td>公開講座</td><td>1 1 回</td></tr><tr><td>糖尿病教室</td><td>6 回</td></tr></table>	事 項	令和7年度実績	公開講座	1 1 回	糖尿病教室	6 回	5	
事 項	令和7年度計画																
公開講座	1 0 回																
糖尿病教室	4 回																
事 項	令和7年度実績																
公開講座	1 1 回																
糖尿病教室	6 回																
	(5)	職員の接遇向上 職員一人ひとりが接遇の重要性を認識し、思いやりと気配りがあふれ、患者や来院者にとって心落ち着く対応の実現に向けて、接遇研修を定期的に行う。	職員の接遇向上 患者や来院者が抱える不安や診察前の緊張を和らげ、安心して医療を受けられる環境の整備を目的に、医療安全の観点も踏まえた接遇研修を実施した。 併せて、患者満足度調査や意見箱などに寄せられた意見や要望を全職員で共有し、各部門において具体的な改善策を検討・実施するなど、接遇の質の向上に向けた組織的な取組を推進した。	3													

		<table><tr><td colspan="2">＜関連する計画数値＞</td></tr><tr><td>事 項</td><td>令和 7 年度計画</td></tr><tr><td>患者満足度調査 (職員の接遇に係る満足の割合)</td><td>9 0 . 0 %以上</td></tr><tr><td>全職員向け接遇研修</td><td>2 回</td></tr><tr><td>全職員向け接遇研修参加率</td><td>1 0 0 . 0 %</td></tr></table>	＜関連する計画数値＞		事 項	令和 7 年度計画	患者満足度調査 (職員の接遇に係る満足の割合)	9 0 . 0 %以上	全職員向け接遇研修	2 回	全職員向け接遇研修参加率	1 0 0 . 0 %	<table><tr><td colspan="2">＜計画に対する実績等＞</td></tr><tr><td>事 項</td><td>令和 7 年度実績</td></tr><tr><td>患者満足度調査 (職員の接遇に係る満足の割合)</td><td>7 7 . 5 % (入院 7 7 . 7 %) (外来 7 7 . 2 %)</td></tr><tr><td>全職員向け接遇研修</td><td>2 回</td></tr><tr><td>全職員向け接遇研修参加率</td><td>9 4 . 0 %</td></tr></table> ※研修は e ラーニングの他、動画視聴が困難な職員に対しては映像による講演を実施してフォローを行っている。	＜計画に対する実績等＞		事 項	令和 7 年度実績	患者満足度調査 (職員の接遇に係る満足の割合)	7 7 . 5 % (入院 7 7 . 7 %) (外来 7 7 . 2 %)	全職員向け接遇研修	2 回	全職員向け接遇研修参加率	9 4 . 0 %		
＜関連する計画数値＞																									
事 項	令和 7 年度計画																								
患者満足度調査 (職員の接遇に係る満足の割合)	9 0 . 0 %以上																								
全職員向け接遇研修	2 回																								
全職員向け接遇研修参加率	1 0 0 . 0 %																								
＜計画に対する実績等＞																									
事 項	令和 7 年度実績																								
患者満足度調査 (職員の接遇に係る満足の割合)	7 7 . 5 % (入院 7 7 . 7 %) (外来 7 7 . 2 %)																								
全職員向け接遇研修	2 回																								
全職員向け接遇研修参加率	9 4 . 0 %																								
6		地域医療への貢献		4																					
	(1)	地域医療機関等との連携推進 ア 地域包括ケアシステムを構成する組織としての取組 地域包括ケアシステムの中で、急性期医療を核とした地域の中核病院としての役割を果たすため、地域医療連携室の活動を促進し、紹介及び逆紹介を推進するとともに、地域医療機関などを積極的に訪問し、信頼関係を構築する。 イ 地域医療支援病院としての取組 第一線の地域医療を担う、かかりつけ医等を支援するため、紹介及び逆紹介の推進、高度医療機器の共同利用、地域の医療従事者に対する研修等を実施する。	地域医療機関等との連携推進 ア 地域包括ケアシステムを構成する組織としての取組 当センターは、地域包括ケアシステムの確立のため、急性期医療を提供し、在宅復帰に向けたスムーズな連携促進が求められている。そのため、地域医療連携室の活動を促進し、地域医療機関等と情報交換会や研修会等を実施し連携強化と情報共有を図った。また、紹介患者の受入状況の把握や分析等を行い、紹介率・逆紹介率の向上に努めた。 イ 地域医療支援病院としての取組 地域における医療の確保及び質の向上のため地域医療支援病院運営委員会を書面にて開催した。 また、圏内の医師会・歯科医師会との「病診連携懇談会」を開催し、当センターの P R と情報共有を図り、地域におけるかかりつけ医の支援及び効率的な医療提供体制の構築に努めた。 さらに、地域の在宅医療・介護従事者に対する研修教育として、認定看護師等による在宅医療・介護研修会を実施した。また、周産期・母子保健に関わる市町の行政機関等との連携体制の構築を図るため周産期・母子保健研修会を実施した。	5																					

		ウ 医療圏の中核病院としての機能の定着化 千葉県が策定する地域医療構想との整合を図りながら、地域医療機関との役割分担を明確化し、医療圏の中核病院としての機能を定着させる。 〈関連する計画数値〉 <table><tr><th>事 項</th><th>令和7年度計画</th></tr><tr><td>地域医療連携室の施設訪問等</td><td>90件</td></tr><tr><td>紹介率</td><td>70.0%</td></tr><tr><td>逆紹介率</td><td>85.0%</td></tr><tr><td>病診連携の取組（会議・研修等）</td><td>4回</td></tr></table>	事 項	令和7年度計画	地域医療連携室の施設訪問等	90件	紹介率	70.0%	逆紹介率	85.0%	病診連携の取組（会議・研修等）	4回	MR I（3.0T）やCT等の当センターが保有する高度医療機器を地域医療連携室が窓口となり、地域の医療機関との地域連携による共同利用を推進した。 ・高度医療機器の共同利用件数 309件 ウ 医療圏の中核病院としての機能の定着化 今後の地域医療構想を視野に、地域医療機関との役割分担の明確化及び連携の強化を推進し、医療圏における地域完結型医療の中心的役割を担う中核病院として、救急医療を主体とする急性期医療及び高度医療を提供するための機能の定着化を図った。 〈計画に対する実績等〉 <table><tr><th>事 項</th><th>令和7年度実績</th></tr><tr><td>地域医療連携室の施設訪問等</td><td>70件</td></tr><tr><td>紹介率</td><td>90.8%</td></tr><tr><td>逆紹介率</td><td>89.2%</td></tr><tr><td>病診連携の取組（会議・研修等）</td><td>4回</td></tr></table>	事 項	令和7年度実績	地域医療連携室の施設訪問等	70件	紹介率	90.8%	逆紹介率	89.2%	病診連携の取組（会議・研修等）	4回		
事 項	令和7年度計画																								
地域医療連携室の施設訪問等	90件																								
紹介率	70.0%																								
逆紹介率	85.0%																								
病診連携の取組（会議・研修等）	4回																								
事 項	令和7年度実績																								
地域医療連携室の施設訪問等	70件																								
紹介率	90.8%																								
逆紹介率	89.2%																								
病診連携の取組（会議・研修等）	4回																								
(2)	保健福祉行政等との協力 保健福祉、救急搬送を担う自治体担当部局や医師会との連携を図り、地域医療機関との役割分担を明確にした上で、乳幼児健診やがん検診等に係る精密検査を実施する。 特に、設立団体が行う保健福祉関連施策には、担当部局との連携を図りつつ、積極的に協力する。 また、消防と連携し、救急救命士や救急隊員の教育を行う。 医師会については、その活動に積極的に参加し、情報交換を適宜行うなど必要な協力連携を図る。	保健福祉行政等との協力 自治体保健福祉部局や広域消防、医師会等との連携を密にし、地域医療機関との役割分担を明確にした上で、乳幼児健診やがん検診等に係る精密検査を実施した。 設立団体及び周辺自治体を実施する産後ケア事業の受入機関として円滑な運用ができるよう努めた。 各広域消防との緊密なメディカルコントロール体制を構築し、病院前救護活動の能力向上に資するため、多数の救急救命士の病院実習を受け入れた。 ・産後ケア事業受入自治体 東金市、九十九里町、山武市、大網白里市、横芝光町、八街市、千葉市、茂原市 ・病院実習受入機関（消防関係） 山武都市消防本部、長生都市消防本部	5																						

		〈関連する計画数値〉 <table><tr><td>事 項</td><td>令和 7 年度計画</td></tr><tr><td>産後ケア事業受入数（再掲）</td><td>1 0 0 件</td></tr><tr><td>救急救命士研修の受入れ</td><td>6 0 人</td></tr></table>	事 項	令和 7 年度計画	産後ケア事業受入数（再掲）	1 0 0 件	救急救命士研修の受入れ	6 0 人	〈計画に対する実績等〉 <table><tr><td>事 項</td><td>令和 7 年度実績</td></tr><tr><td>産後ケア事業受入数（再掲）</td><td>1 7 2 件</td></tr><tr><td>救急救命士研修の受入れ</td><td>5 1 人</td></tr></table>	事 項	令和 7 年度実績	産後ケア事業受入数（再掲）	1 7 2 件	救急救命士研修の受入れ	5 1 人			
事 項	令和 7 年度計画																	
産後ケア事業受入数（再掲）	1 0 0 件																	
救急救命士研修の受入れ	6 0 人																	
事 項	令和 7 年度実績																	
産後ケア事業受入数（再掲）	1 7 2 件																	
救急救命士研修の受入れ	5 1 人																	
	(3)	疾病予防の取組 予防医療の一環として、インフルエンザワクチン等の各種ワクチンの個別接種を行う。 また、疾病予防や生活習慣病に対する早期発見を推進するため、保健福祉を担う自治体担当部局や医師会と連携を図り、予防医療の充実に協力する。 〈関連する計画数値〉 <table><tr><td>事 項</td><td>令和 7 年度計画</td></tr><tr><td>予防接種実施件数</td><td>3, 0 0 0 件</td></tr></table>	事 項	令和 7 年度計画	予防接種実施件数	3, 0 0 0 件	疾病予防の取組 千葉県内定期予防接種相互乗入れ事業への参加を継続し、主に当センター受診患者の予防接種対象者の利便性を図り、予防接種の接種率の向上に努めた。 また、乳幼児健康検査の東金市、九十九里町の委託を受け、小児科医を派遣して疾病予防対応に努めた。 〈計画に対する実績等〉 <table><tr><td>事 項</td><td>令和 7 年度実績</td></tr><tr><td>予防接種実施件数</td><td>2, 9 7 3 件</td></tr></table>	事 項	令和 7 年度実績	予防接種実施件数	2, 9 7 3 件	3						
事 項	令和 7 年度計画																	
予防接種実施件数	3, 0 0 0 件																	
事 項	令和 7 年度実績																	
予防接種実施件数	2, 9 7 3 件																	
	7	メディカルセンターの段階的な診療科の開設と病棟の開棟		5														
		病院機能における必要性や地域の医療需要等を踏まえ、予定していた 2 診療科（泌尿器科及び眼科）を開設して 2 4 診療科とし、7 病棟を開棟する。 稼働病床については、医療従事者を確保するとともに適正な看護師配置による体制を整え、安定した病棟運営に努める。	診療科については、病院機能における必要性や地域の医療需要を踏まえ、当初開設を予定していた残りの 2 診療科（泌尿器科及び眼科）を開設し、外科分野における施設基準認定のため消化器外科を標榜に追加し、下表のとおり 2 5 診療科体制を確立した。 病棟については、医師・看護師等の医療従事者の確保、医療需要の動向、病院経営の効率性を考慮したうえで、病床を令和 7 年 5 月に 2 4 床、令和 7 年 1 1 月にさらに 7 床を段階的に増やし、稼働病床を 3 1 0 床と増床を完了した。	5														

				令和7年度		令和7年度			
			診療科 (診療科数)	総合診療科、消化器内科、脳神経内科、呼吸器内科、循環器内科、代謝・内分泌内科、小児科、外科、心臓血管外科、整形外科、脳神経外科、形成外科、皮膚科、産婦人科、耳鼻咽喉科、泌尿器科、眼科、リハビリテーション科、放射線科、麻酔科、精神科、歯科口腔外科、救急科・集中治療部、病理診断科 (24科)	診療科 (診療科数)	総合診療科、消化器内科、脳神経内科、呼吸器内科、循環器内科、代謝・内分泌内科、小児科、外科、消化器外科、心臓血管外科、整形外科、脳神経外科、形成外科、皮膚科、産婦人科、耳鼻咽喉科、泌尿器科、眼科、リハビリテーション科、放射線科、麻酔科、精神科、歯科口腔外科、救急科・集中治療部、病理診断科 (25科)			
			稼働病床	301床	稼働病床	310床			
			(一般病棟)	7病棟 269床	(一般病棟)	7病棟 278床			
			(救命救急センター)	ICU10床 HCU10床	(救命救急センター)	ICU 8床 HCU 12床			
			(脳卒中専門病棟)	SCU12床	(脳卒中専門病棟)	SCU 12床			
2			業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するためとるべき措置						
	1		効率的かつ効果的な業務運営体制の整備				4		
		(1)	目標管理の徹底 中期目標等を着実に達成できるよう、各種指標や目標値を適切に設定し、PDCAサイクルによる効果検証、業務プロセスの改善など、目標管理を徹底する。				5		
			目標管理の徹底 第4期中期目標及び中期計画を達成できるよう設定した年度計画を遂行できているか、業務プロセス・運営状況を確認し目標管理に努めた。 特に、病床増加及び新規病棟開設に向け、外部コンサルタントを活用した検討を実施し、人員配置及び開棟時期に関する提言を得るなど、中期目標の着実な達成に向けた具体的な取り組みを推進した。						

(2)	効率的かつ効果的な業務運営体制の整備 医療や病院経営をめぐる環境の変化に迅速に対応するため、病院幹部で構成する執行部会議を隔週で開催する。 また、各部門責任者等で構成する運営会議や職員へのヒアリング、運営状況等の職員説明会などを開催し、病院の抱える課題や経営状況の情報共有を図り、組織全体でコスト意識を持った経営を実施する。 なお、経営戦略を実践し、経営効率の高い業務運営体制を図る。 ＜関連する計画数値＞ <table><tr><th>事 項</th><th>令和 7 年度計画</th></tr><tr><td>各部門からのヒアリング</td><td>2 回</td></tr><tr><td>運営状況等の職員説明会</td><td>1 2 回</td></tr></table>	事 項	令和 7 年度計画	各部門からのヒアリング	2 回	運営状況等の職員説明会	1 2 回	効率的かつ効果的な業務運営体制の整備 医療環境の変化等に的確に対応できるように、理事長のリーダーシップの下、センター長、副センター長等で構成する執行部会議を毎月 2 回開催し、各月の診療実績や財務状況等を分析し、報告した。 また、各部門責任者等で構成する運営会議においては、執行部会議の議事録を配布し、院全体の情報の共有化を図り、経営状況と業務改善に向けた意識を醸成し、業務運営体制の構築に努めた。 ・理事会 6 回 ・執行部会議 毎月 2 回 ・運営会議 毎月 1 回 ・病院全体会議 1 回 ＜計画に対する実績等＞ <table><tr><th>事 項</th><th>令和 7 年度実績</th></tr><tr><td>各部門からのヒアリング</td><td>2 回</td></tr><tr><td>運営状況等の職員説明会</td><td>1 2 回</td></tr></table>	事 項	令和 7 年度実績	各部門からのヒアリング	2 回	運営状況等の職員説明会	1 2 回	4	
事 項	令和 7 年度計画															
各部門からのヒアリング	2 回															
運営状況等の職員説明会	1 2 回															
事 項	令和 7 年度実績															
各部門からのヒアリング	2 回															
運営状況等の職員説明会	1 2 回															
(3)	コンプライアンスの徹底 関係法令の遵守にとどまらず、職員の倫理を確立するための行動規範を実践し、内部統制を充実、強化することにより、適正な業務運営を行う。 また、個人情報の保護や情報セキュリティ対策を適切に実施するとともに、情報公開や内部通報制度を適切に運用し、組織全体の透明性を確保し、業務内容や業務運営の改善等の情報発信に積極的に取り組む。	コンプライアンスの徹底 組織全体の透明性を図るため、内部通報やハラスメント等の相談窓口において内部・外部相談員への通報・相談により、調査及び調停の申立てのあった事案に対応するため、必要に応じてハラスメント審議会に諮るなど、職場環境の改善に取り組んだ。 また、コンプライアンスや個人情報保護、職場におけるハラスメント防止に関する研修を実施し、職員のコンプライアンス意識の向上に努めた。 加えて、コンプライアンスを徹底するうえでは、組織内及び職員間における円滑なコミュニケーションが重要であるとの認識のもと、コミュニケーション研修を実施し、相互理解の促進、相談しやすい職場風土の醸成及び問題の未然防止に取り組んだ。	4													

		さらに、適正な業務運営を確保するために、必要な情報共有を図りながら、内部統制の充実及び強化に努めるとともに、個人情報の保護や情報セキュリティ対策、情報公開及び内部通報制度の適切な運用を通じて、組織全体の透明性の確保に努めた。															
		〈関連する計画数値〉 <table><tr><th>事 項</th><th>令和7年度計画</th></tr><tr><td>コンプライアンス研修</td><td>2回</td></tr><tr><td>コンプライアンス研修参加率</td><td>100.0%</td></tr></table>	事 項	令和7年度計画	コンプライアンス研修	2回	コンプライアンス研修参加率	100.0%	〈計画に対する実績等〉 <table><tr><th>事 項</th><th>令和7年度実績</th></tr><tr><td>コンプライアンス研修</td><td>2回</td></tr><tr><td>コンプライアンス研修参加率</td><td>93.5%</td></tr></table> ※研修はeラーニングの他、動画視聴が困難な職員に対しては映像による講演を実施してフォローを行っている。	事 項	令和7年度実績	コンプライアンス研修	2回	コンプライアンス研修参加率	93.5%		
事 項	令和7年度計画																
コンプライアンス研修	2回																
コンプライアンス研修参加率	100.0%																
事 項	令和7年度実績																
コンプライアンス研修	2回																
コンプライアンス研修参加率	93.5%																
	(4)	人員配置の弾力的運用 医師の働き方改革等も考慮し、必要に応じて人員体制の見直しなどを弾力的に行うとともに、医師、看護師等の負担軽減に配慮した補助員の配置など、適正な人員配置及び労働時間の実現に努める。 また、事務部においても外部委託の活用などにより、職員の再配置を行う。 〈関連する計画数値〉 <table><tr><th>事 項</th><th>令和7年度計画</th></tr><tr><td>医師事務作業補助者数</td><td>19人</td></tr><tr><td>看護補助者数</td><td>25人</td></tr></table>	事 項	令和7年度計画	医師事務作業補助者数	19人	看護補助者数	25人	人員配置の弾力的運用 患者動向や業務量の変化に柔軟かつ迅速に対応するため、必要に応じて医師や看護師及び事務職員等の人員配置の見直しを行うとともに、医師事務作業補助者及び看護補助者等の配置により、医師や看護師等の業務負担の軽減を図り、効率的な業務運営体制の構築に努めた。 事務部についても、職員の配置転換や設立団体からの職員派遣に加え、外部委託の活用などにより、弾力的な運用を実施した。 〈計画に対する実績等〉 <table><tr><th>事 項</th><th>令和7年度実績</th></tr><tr><td>医師事務作業補助者数</td><td>14人</td></tr><tr><td>看護補助者数</td><td>32人</td></tr></table>	事 項	令和7年度実績	医師事務作業補助者数	14人	看護補助者数	32人	4	
事 項	令和7年度計画																
医師事務作業補助者数	19人																
看護補助者数	25人																
事 項	令和7年度実績																
医師事務作業補助者数	14人																
看護補助者数	32人																
	(5)	人事評価制度の導入、適切な施行及び改善 職員のモチベーションの向上と組織の活性化を図るため、勤務実績や能力、組織への貢献度が適正に評価される人事評価制度を、今後も段階的に導入する。 先に運用を開始した事務職には、制度につい	人事評価制度の導入、適切な施行及び改善 評価をもとにした最適な人事配置による組織の活性化と業績及び職員のモチベーションの向上、人材育成等を図るため、職員の自己点検・自己評価が反映され、勤務実績や能力等が適正に評価される人事評価制度について、制度の適切な運用及び理解の促進に努めた。	3													

		てより深く理解するための研修等を実施する。 また、制度の適切な運用及び目的を達成するため、恣意的とならない評価基準の策定や研修等を実施し、随時、改善や見直しの取組を行う。 ＜関連する計画数値＞ <table><tr><th>事 項</th><th>令和 7 年度計画</th></tr><tr><td>人事評価制度説明会</td><td>2 回</td></tr></table>	事 項	令和 7 年度計画	人事評価制度説明会	2 回	令和 6 年度下期より事務職において運用を開始した同制度については、令和 7 年度は年間を通じて実施するとともに、目標の設定、進行状況の管理監督及び評価の各段階における上司と部下のコミュニケーション促進を目的とした研修、報告・連絡・相談といった基礎的なコミュニケーションの充実、恣意的とならない評価の運用確保、並びに評価基準や運用方法の随時改善・見直しに取り組んだ。 ＜計画に対する実績等＞ <table><tr><th>事 項</th><th>令和 7 年度実績</th></tr><tr><td>人事評価制度説明会</td><td>2 回</td></tr></table>	事 項	令和 7 年度実績	人事評価制度説明会	2 回		
事 項	令和 7 年度計画												
人事評価制度説明会	2 回												
事 項	令和 7 年度実績												
人事評価制度説明会	2 回												
(6)	外部評価 ア 病院経営等の専門家の活用 中期目標、中期計画及び年度計画に掲げる目標を着実に達成できるよう、外部の専門家等による検証を活用し、計画の進捗管理を徹底する。 特に、経常収支・資金収支、医療体制、医療需要、診療報酬上の加算措置や施設基準の取得状況及びDPC／PDPS（診断群分類別包括支払制度）における医療機関別係数等に対する技術的な支援、職員への個別ヒアリング等の結果を踏まえ、必要な見直しを適宜行う。 また、地方独立行政法人法（平成 1 5 年法律第 1 1 8 号）に基づいた設立団体の評価等を受け、業務の改善を図る。 イ 監査の活用 内部監査部門による内部監査を適正に実施するとともに、外部監査を実施し、内部統制が有効に機能していることを継続的に評価する。 また、監事監査等によって指摘を受けた事項については必要な見直しを適宜行い、改善状況	外部評価 ア 病院経営等の専門家の活用 第 4 期中期目標及び中期計画を着実に達成できるよう設定した年度計画を遂行するため、業務監査において公認会計士による業務プロセス、経常収支・資金収支、医療体制、資産管理手法や当センターの状況等のヒアリングを実施し、必要な事務改善を適宜行った。 イ 監査の活用 監査規程に基づき監事監査に係る業務の明確化及び強化を図り、引き続き以下の業務改善を実施した。 ・組織全体での情報共有と管理体制の強化 ・監事の指示に基づき、会計監査と業務監査により監査機能を強化し、各部門へのフィードバックと業務改善	4										

		を公表する。 ウ 病院機能評価の活用 病院機能評価については、費用対効果等を慎重に見極めながら、導入に向けた検討を行う。 エ 住民意見の活用 住民意見を病院運営に反映させるため、意見箱の設置や患者満足度調査の実施などにより、地域住民から意見及び要望を収集し、検証及び活用を図る。 ＜関連する計画数値＞ <table><tr><th>事 項</th><th>令和 7 年度計画</th></tr><tr><td>定期監査</td><td>4 回</td></tr><tr><td>住民からの意見・要望の検証（再掲）</td><td>6 回</td></tr></table>	事 項	令和 7 年度計画	定期監査	4 回	住民からの意見・要望の検証（再掲）	6 回	の取組 ・内部通報制度の運用 ・入札や契約等の状況について監視を強化するため、契約監視委員会による調査・点検の実施 ウ 病院機能評価の活用 病院機能評価の取得に伴う人的・金銭的なコストや、取得することによるメリット等、病院機能評価の費用対効果を見極めるべく、導入に向けた検討を進めた。 エ 住民意見の活用 設置した意見箱と患者満足度調査を実施し、患者及び地域住民の意見・要望を収集した。 収集した意見・要望を患者サービス向上委員会にて検証し、各部門に周知することで業務改善につながるよう活用した。 ＜計画に対する実績等＞ <table><tr><th>事 項</th><th>令和 7 年度実績</th></tr><tr><td>定期監査</td><td>4 回 業務監査：5 1 回</td></tr><tr><td>住民からの意見・要望の検証（再掲）</td><td>6 回</td></tr></table>	事 項	令和 7 年度実績	定期監査	4 回 業務監査：5 1 回	住民からの意見・要望の検証（再掲）	6 回		
事 項	令和 7 年度計画																
定期監査	4 回																
住民からの意見・要望の検証（再掲）	6 回																
事 項	令和 7 年度実績																
定期監査	4 回 業務監査：5 1 回																
住民からの意見・要望の検証（再掲）	6 回																
2		人材の確保		4													
	(1)	千葉大学医学部附属病院東金九十九里地域臨床教育センターとの連携 千葉大学との協定によりメディカルセンター内に設置した千葉大学医学部附属病院東金九十九里地域臨床教育センターと連携し、指導医等による安定的な教育及び診療体制を維持する。	千葉大学医学部附属病院東金九十九里地域臨床教育センターとの連携 千葉大学との協定により、当センター内に設置した千葉大学医学部附属病院東金九十九里地域臨床教育センターと連携し、指導医等による安定的な教育と当センターの医療機能を活かし診療体制を維持した。 指導医：千葉大学大学院医学研究院総合医科学講座特任教員	5													

		＜関連する計画数値＞		＜計画に対する実績等＞												
		事 項	令和 7 年度計画	事 項	令和 7 年度実績											
		指導医数	3 2 人	指導医数	3 7 人											
	(2)	医師の確保 地域の医療需要やメディカルセンターの医療機能を踏まえた中で、積極的に常勤医師を確保する。 また、千葉大学医学部附属病院東金九十九里地域臨床教育センターと連携し、基幹型臨床研修病院としてメディカルセンターが有する人材及び施設設備を活かした魅力的な研修プログラムの充実を図り、臨床研修医の確保及び育成を積極的に行う。 併せて、メディカルセンターを基幹施設とする新専門医制度専門研修プログラム(内科領域)による専攻医の受入れを行う。 ＜関連する計画数値＞ <table><tr><th>事 項</th><th>令和 7 年度計画</th></tr><tr><td>医師数</td><td>6 8 人</td></tr></table>		事 項	令和 7 年度計画	医師数	6 8 人	医師の確保 千葉大学医学部附属病院東金九十九里地域臨床教育センター等と連携するとともに必要とする医療機能や地域の医療需要を的確に捉えることにより、診療規模に見合った医師数を積極的に確保した。 また、基幹型/協力型臨床研修病院として千葉大学医学部附属病院等臨床研修医の受入れを行った。 当センターを基幹施設とする新専門医制度専門研修プログラム（内科領域）についても継続し、専攻医を受け入れた。 ＜計画に対する実績等＞ <table><tr><th>事 項</th><th>令和 7 年度実績</th></tr><tr><td>医師数</td><td>8 0 人</td></tr></table>		事 項	令和 7 年度実績	医師数	8 0 人	5		
事 項	令和 7 年度計画															
医師数	6 8 人															
事 項	令和 7 年度実績															
医師数	8 0 人															
	(3)	看護師の確保 質の高い看護を提供するとともに、円滑な病棟の開棟を実現するため、看護師養成機関への訪問、病院見学会の開催、ホームページや各種メディアを活用した広報活動などにより、新規及び中途採用者の確保を図るとともに、院内教育体制や労働環境等の充実により看護師の定着を図り、入院基本料 1（7 対 1）に対応する看護師配置基準を堅持した中で、計画的に看護師を確保する。 また、看護学生への奨学金制度の維持及び実習の積極的な受入れにより、地域における看護師の育成に寄与するとともに、メディカルセンターへの就職希望者を確保する。		看護師の確保 看護系大学・養成所などの看護師養成機関への訪問及びインターンシップ（病院見学会）、広報活動として県内複数の看護系大学・養成所に講師として看護師を派遣するとともに、助産師による中学生を対象とした出前授業を実施した。 また、設立団体との共同による奨学金受給学生合同ガイダンスを開催し、看護師の確保に努めた。 一般病棟における入院基本料 1（7 対 1）の看護配置を堅持した。 ・新規採用（4 月）看護師 4 2 人 内 新卒者 3 9 人 内 奨学金受給者 1 2 人 一般採用者 2 7 人		3										

			・中途採用看護師3人 ・新規奨学金受給者6人																											
		〈関連する計画数値〉 <table><tr><td>事 項</td><td>令和7年度計画</td></tr><tr><td>看護師数</td><td>328人</td></tr><tr><td>看護師養成機関への訪問</td><td>8校</td></tr><tr><td>病院見学会</td><td>12回</td></tr><tr><td>看護師離職率</td><td>11.5%以下</td></tr><tr><td>看護師育成機関からの実習受入れ</td><td>5機関</td></tr></table>	事 項	令和7年度計画	看護師数	328人	看護師養成機関への訪問	8校	病院見学会	12回	看護師離職率	11.5%以下	看護師育成機関からの実習受入れ	5機関	〈計画に対する実績等〉 <table><tr><td>事 項</td><td>令和7年度実績</td></tr><tr><td>看護師数</td><td>306人</td></tr><tr><td>看護師養成機関への訪問</td><td>5校</td></tr><tr><td>病院見学会</td><td>15回</td></tr><tr><td>看護師離職率</td><td>14.8%</td></tr><tr><td>看護師育成機関からの実習受入れ</td><td>6機関／年</td></tr></table>	事 項	令和7年度実績	看護師数	306人	看護師養成機関への訪問	5校	病院見学会	15回	看護師離職率	14.8%	看護師育成機関からの実習受入れ	6機関／年			
事 項	令和7年度計画																													
看護師数	328人																													
看護師養成機関への訪問	8校																													
病院見学会	12回																													
看護師離職率	11.5%以下																													
看護師育成機関からの実習受入れ	5機関																													
事 項	令和7年度実績																													
看護師数	306人																													
看護師養成機関への訪問	5校																													
病院見学会	15回																													
看護師離職率	14.8%																													
看護師育成機関からの実習受入れ	6機関／年																													
3		人材育成		4																										
		医療従事者の臨床研修の場として教育及び研修に努め、地域の中核病院として十分に機能するための人材を育成し、継続的に地域における医療の質の向上を図る。 医師、看護師、医療技術職等の職種や部門に応じた資格の取得等を促進するとともに、学会や研究会での発表などに積極的に取り組み、その専門性を高め、医療の発展に寄与する。 また、病院経営や医療事務等に精通した職員の確保及び育成に努め、医療制度や医療環境の変化等に的確に対応できるよう体制を強化する。	看護師、薬剤師をはじめとした医療に携わる者の知識や技術の向上を図るとともに、教育・研修に努め、学会や研修会等への参加及び資格取得を推進した。 また、医療人材の育成を目的とする寄付金について基金を創設し、若手医療従事者の学会参加、論文投稿、研究等の学術活動を支援することにより、次世代の医療人材の育成に取り組んだ。 これにより、各職種の専門性の向上を図るとともに、継続的な地域医療の質の向上及び医療の発展への寄与につとめた。 さらに、病院経営や医療事務等に精通した人材の確保と継続的な育成に努め、的確かつ速やかに対応できるよう体制強化に努めた。 ・検査部 緊急臨床検査士6人、二級臨床検査士10人(臨床化学3人、血液学3人、免疫血清学2人、神経生理学1人、呼吸生理学1人)、細胞検査士1名、心電図検定1級1名 他 ・放射線部 救急撮影認定技師7人、X線CT専門技師1人、X線CT認定技師4人、上級磁気共鳴専門技術者1名、検	4																										

			診マンモグラフィ撮影認定診療放射線技師 3 人 他 ・リハビリテーション部 認定理学療法士 3 人(運動器 1 人、呼吸・神経筋障害 1 人、循環 1 人)、集中治療理学療法士 1 人、 3 学会合同呼吸療法認定士 4 人 他 ・臨床工学部 体外循環技術認定士 1 人、透析技術認定士 2 人 日本DMA T 隊員 1 人 国際緊急援助隊医療チーム隊員 1 名 他 ・臨床栄養部 N S T 専門療法士 3 人、日本糖尿病療養指導士 3 人、がん病態栄養専門管理栄養士 1 人、肝疾患病態栄養専門管理栄養士 1 人 ・薬剤部 医療薬学指導薬剤師 1 人、薬物療法指導薬剤師 1 人、抗菌化学療法認定薬剤師 2 人、救急専門薬剤師 1 人、日本糖尿病療養指導士 1 人、心不全療養指導士 1 名 他															
		〈関連する計画数値〉 <table><tr><th>事 項</th><th>令和 7 年度計画</th></tr><tr><td>学会発表</td><td>1 0 0 件</td></tr><tr><td>認定看護師・専門看護師数</td><td>5 人</td></tr></table>	事 項	令和 7 年度計画	学会発表	1 0 0 件	認定看護師・専門看護師数	5 人	〈計画に対する実績等〉 <table><tr><th>事 項</th><th>令和 7 年度実績</th></tr><tr><td>学会発表</td><td>1 1 3 件</td></tr><tr><td>認定看護師・専門看護師数</td><td>5 人</td></tr></table> ※認定看護師 4 人(救急看護 2 人、皮膚・排泄ケア 1 人、感染管理 1 人)、専門看護師 1 人(精神看護)	事 項	令和 7 年度実績	学会発表	1 1 3 件	認定看護師・専門看護師数	5 人			
事 項	令和 7 年度計画																	
学会発表	1 0 0 件																	
認定看護師・専門看護師数	5 人																	
事 項	令和 7 年度実績																	
学会発表	1 1 3 件																	
認定看護師・専門看護師数	5 人																	
4		働きやすい職場環境の整備		4														
		職員を対象とした満足度調査やメンタルヘルスケアの実施により、職員が安心して働くことができるよう職場環境の整備及び改善に努めるなど、職員のワーク・ライフ・バランスに配慮した各種制度等を整備する。 具体的には、医師・看護師宿舎及び院内保育所の運営、医師・看護師等の負担軽減に配慮し	「医師の働き方改革」施行に伴い、労働時間の適正化と健康管理を推進し、職員が安心して働くことができる環境整備に取り組んだ。 また、全職員を対象にストレスチェックを実施するとともに、職員満足度調査等を通じて勤務状況や職場環境の把握に努め、産業医や外部相談員による相談体制を整備し、心身の不調や職場の悩みに対する早期対応に努め	4														

		た事務補助員の配置、育児短時間勤務制度等の育児中の職員に配慮した制度の整備、職員の休暇取得の促進等の取組を進める。	た。 育児短時間勤務制度等を活用しやすいように、勤務形態や人員配置に配慮するとともに、各種休暇制度の取得を促進し、職員のワーク・ライフ・バランスに配慮した環境整備を進めた。 加えて、令和7年4月1日施行の育児・介護休業法の改正に伴い、子の看護等休暇の対象拡大や取得事由の見直し、介護休暇等に係る要件緩和、所定外労働の制度整備を行い、育児や介護を担う職員がより働きやすい職場環境の充実を図った。 ・育児休業取得者 29人 ・育児部分休業利用者 17人 ・院内保育所延利用者数 2,315人															
		＜関連する計画数値＞ <table><tr><td>事 項</td><td>令和7年度計画</td></tr><tr><td>職員満足度調査</td><td>1回</td></tr><tr><td>ストレスチェック</td><td>1回</td></tr></table>	事 項	令和7年度計画	職員満足度調査	1回	ストレスチェック	1回	＜計画に対する実績等＞ <table><tr><td>事 項</td><td>令和7年度実績</td></tr><tr><td>職員満足度調査</td><td>1回</td></tr><tr><td>ストレスチェック</td><td>1回</td></tr></table>	事 項	令和7年度実績	職員満足度調査	1回	ストレスチェック	1回			
事 項	令和7年度計画																	
職員満足度調査	1回																	
ストレスチェック	1回																	
事 項	令和7年度実績																	
職員満足度調査	1回																	
ストレスチェック	1回																	
	5	職員給与の原則		4														
		職員の給与は、当該職員の勤務成績と法人の業務実績を踏まえた給与制度を運用していく。	職員の給与については、勤務成績及び法人の業務実績を踏まえた給与制度の適切な運用に努めた。 また、医療従事者の確保と定着を図るため、物価高騰や他産業における賃上げの動向を踏まえるとともに、設立団体職員の地域手当も考慮し、令和7年4月に1%の地域手当を創設した。 これにより、職員の処遇改善を図り、安定的な人材確保につながる給与制度の整備に努めた。 さらに、過去の第三者委員会の提言を踏まえ、給与制度の公平性を確保するため、職員の初任給や昇給等について再算定を行うとともに、職員への説明を実施し、必要に応じて是正措置を講ずることで、制度運用の透明性向上に努めた。	4														

3		財務内容の改善に関する目標を達成するためとるべき措置																								
	1		健全な経営基盤の確立		4																					
		(1)	健全な経営基盤の確立 良質で満足度の高い医療を安定的、継続的に提供するとともに、業務運営改善及び経営改善を図り、人件費比率、材料費比率、経費比率等の適正化に努め、経常収支・資金収支の改善に向けた取組を行い、経営安定化の目安である健全な経営基盤の確立と一定の資金残高の確保を目指す。 なお、医療制度や医療環境の変化等に際しては、その内容を十分に考慮した上での的確に対応する。 ＜関連する計画数値＞ <table><tr><th>事 項</th><th>令和7年度計画</th></tr><tr><td>各部門からのヒアリング（再掲）</td><td>2回</td></tr><tr><td>運営状況等の職員説明会（再掲）</td><td>1 2回</td></tr><tr><td>経常収支比率</td><td>9 1. 9 %</td></tr><tr><td>医業収支比率</td><td>8 5. 2 %</td></tr></table>	事 項	令和7年度計画	各部門からのヒアリング（再掲）	2回	運営状況等の職員説明会（再掲）	1 2回	経常収支比率	9 1. 9 %	医業収支比率	8 5. 2 %	健全な経営基盤の確立 理事長のリーダーシップの下、法人運営の基盤となる理事会、病院幹部等で構成する執行部会議や各部門責任者等で構成する運営会議を定期的に開催した。 そこで年度計画等の進捗管理を行うことで、全ての職員が目標を共有し、目標を達成するための仕組みの構築を進め、診療機能の拡充や病床の開床、積極的な加算の取得による収益の確保、契約の見直しによる費用の合理化等を図り、経営改善に努めた。 ・理事会 6回 ・執行部会議 毎月 2回 ・運営会議 毎月 1回 ・病院全体会議 1回 ＜計画に対する実績等＞ <table><tr><th>事 項</th><th>令和7年度実績</th></tr><tr><td>各部門からのヒアリング（再掲）</td><td>2回</td></tr><tr><td>運営状況等の職員説明会（再掲）</td><td>1 2回</td></tr><tr><td>経常収支比率</td><td>9 1. 7 %</td></tr><tr><td>医業収支比率</td><td>8 2. 6 %</td></tr></table> 参考 総務省＜地方独立行政法人＞提出見込みデータ：営業収支比率（89. 3 %）	事 項	令和7年度実績	各部門からのヒアリング（再掲）	2回	運営状況等の職員説明会（再掲）	1 2回	経常収支比率	9 1. 7 %	医業収支比率	8 2. 6 %	4	
事 項	令和7年度計画																									
各部門からのヒアリング（再掲）	2回																									
運営状況等の職員説明会（再掲）	1 2回																									
経常収支比率	9 1. 9 %																									
医業収支比率	8 5. 2 %																									
事 項	令和7年度実績																									
各部門からのヒアリング（再掲）	2回																									
運営状況等の職員説明会（再掲）	1 2回																									
経常収支比率	9 1. 7 %																									
医業収支比率	8 2. 6 %																									
		(2)	経営情報システムの活用 健全で効率的な経営を確立するために、経営判断や意思決定に資する有効な経営情報システムを活用し、メディカルセンターの業務全般について最適化する。	経営情報システムの活用 財務会計システム等を活用して経営管理を行うとともに、執行部会議及び運営会議の会議録や協議資料については内部ネットワークにより全職員に周知できるよう整備して情報共有に努め、運営会議ではペーパーレス化を図り、効率的な業務運営に努めた。	4																					

2		収益の確保と費用の合理化		4																
	(1)	収益の確保 ア 入院収益・外来収益の確保 医療制度や医療環境の変化等に的確に対応し、救急医療の充実及び地域医療機関等との連携強化により、新規の入院・外来患者を確保するとともに、それに見合った手術患者の確保、病床稼働率の向上、医療機関別係数の向上による効率的な医療の提供等により収益を確保する。 診療報酬については、医療事務等に精通した職員の確保及び育成に努めるとともに外部委託を活用し、請求漏れ、査定による減額や返戻の防止を徹底する。 また、未収金の適切な管理を徹底し、発生防止と早期回収に努める。 イ 診療報酬改定への対応 診療報酬や医療制度の改定に基づいた医療提供体制の整備を迅速かつ適切に行い、収益を確保する。 また、診療報酬上の加算措置や施設基準の取得については、費用対効果も十分に考慮した上で検討するとともに、取得済みの加算措置等を維持する。 ウ 保険外診療収益の確保 保健福祉を担う自治体担当部局や医師会と連携を図り、適切な役割分担のなかで保険外診療収益を確保する。	収益の確保 ア 入院収益・外来収益の確保 入院収益については、病床数を31床増やしたことにより入院患者数が増加し医業収益は、前年度比308百万円の増となった。 外来については、外来延患者数が前年度の106,547人から108,337人へ1,790人増加し、3月には月間外来延患者数が10,000人を超えた。 患者未収金の回収については、施設内規程を見直すとともに回収手順を整備し、早期回収に向けた取組や、未収金を発生させない体制の構築を図った。 <table><tr><td></td><td>令和6年度</td><td>令和7年度</td></tr><tr><td>医業収益</td><td>7,731百万円</td><td>8,039百万円</td></tr><tr><td>内訳 入院収益</td><td>6,051百万円</td><td>6,363百万円</td></tr><tr><td>外来収益</td><td>1,489百万円</td><td>1,486百万円</td></tr><tr><td>その他</td><td>191百万円</td><td>190百万円</td></tr></table> イ 診療報酬改定への対応 診療報酬改定に関する情報収集を行い、適切に対応できる体制を整えるため、外部コンサルタントの協力を得ながら、上位基準の取得について検討を進めた。 また、増床に伴う患者数増加により看護師・看護補助者の配置に不足が生じないように、看護部において人員配置の調整を行い、医療機関別係数の確保に努めた。 ウ 保険外診療収益の確保 自治体保健福祉部局や医師会等との連携を密にし、地域医療機関との役割分担を明確にしたうえで、インフルエンザの予防ワクチン等の個別接種を実施し保険外診療収益の確保を図った。		令和6年度	令和7年度	医業収益	7,731百万円	8,039百万円	内訳 入院収益	6,051百万円	6,363百万円	外来収益	1,489百万円	1,486百万円	その他	191百万円	190百万円	4	
	令和6年度	令和7年度																		
医業収益	7,731百万円	8,039百万円																		
内訳 入院収益	6,051百万円	6,363百万円																		
外来収益	1,489百万円	1,486百万円																		
その他	191百万円	190百万円																		

		<関連する計画数値> <table><tr><th colspan="2">事 項</th><th>令和7年度計画</th></tr><tr><td colspan="2">経常収益</td><td>9, 5 2 9 百万円</td></tr><tr><td rowspan="6">入 院</td><td>病床利用率 (対稼働病床)</td><td>9 0 . 0 %</td></tr><tr><td>病床稼働率 (対稼働病床)</td><td>9 6 . 0 %</td></tr><tr><td>平均患者数</td><td>2 5 0 人／日</td></tr><tr><td>診療報酬単価</td><td>7 2, 5 0 0 円</td></tr><tr><td>平均在院日数 (一般病棟)</td><td>8 . 5 日</td></tr><tr><td>外 来</td><td>平均患者数</td><td>4 7 0 人／日</td></tr><tr><td></td><td>診療報酬単価</td><td>1 4, 5 0 0 円</td></tr><tr><td colspan="2">手術件数</td><td>2, 4 0 0 件</td></tr><tr><td colspan="2">医療機関別係数</td><td>1 . 5 2 3 3</td></tr></table> ※病床利用率…入院延患者数÷延運用病床数×100 ※病床稼働率…（入院延患者数＋退院患者数）÷ 延運用病床数×100	事 項		令和7年度計画	経常収益		9, 5 2 9 百万円	入 院	病床利用率 (対稼働病床)	9 0 . 0 %	病床稼働率 (対稼働病床)	9 6 . 0 %	平均患者数	2 5 0 人／日	診療報酬単価	7 2, 5 0 0 円	平均在院日数 (一般病棟)	8 . 5 日	外 来	平均患者数	4 7 0 人／日		診療報酬単価	1 4, 5 0 0 円	手術件数		2, 4 0 0 件	医療機関別係数		1 . 5 2 3 3	<計画に対する実績等> <table><tr><th colspan="2">事 項</th><th>令和7年度実績</th></tr><tr><td colspan="2">経常収益</td><td>9, 3 1 5 百万円</td></tr><tr><td rowspan="6">入 院</td><td>病床利用率 (対稼働病床)</td><td>7 4 . 4 %</td></tr><tr><td>病床稼働率 (対稼働病床)</td><td>8 0 . 6 %</td></tr><tr><td>平均患者数</td><td>2 4 4 . 8 人／日</td></tr><tr><td>診療報酬単価</td><td>7 2, 8 4 3 円</td></tr><tr><td>平均在院日数 (一般病棟)</td><td>9 . 9 日</td></tr><tr><td>外 来</td><td>平均患者数</td><td>4 4 7 . 7 人／日</td></tr><tr><td></td><td>診療報酬単価</td><td>1 4, 1 4 8 円</td></tr><tr><td colspan="2">手術件数</td><td>2, 7 7 1 件</td></tr><tr><td colspan="2">医療機関別係数</td><td>1 . 5 2 4 3</td></tr></table>	事 項		令和7年度実績	経常収益		9, 3 1 5 百万円	入 院	病床利用率 (対稼働病床)	7 4 . 4 %	病床稼働率 (対稼働病床)	8 0 . 6 %	平均患者数	2 4 4 . 8 人／日	診療報酬単価	7 2, 8 4 3 円	平均在院日数 (一般病棟)	9 . 9 日	外 来	平均患者数	4 4 7 . 7 人／日		診療報酬単価	1 4, 1 4 8 円	手術件数		2, 7 7 1 件	医療機関別係数		1 . 5 2 4 3		
事 項		令和7年度計画																																																													
経常収益		9, 5 2 9 百万円																																																													
入 院	病床利用率 (対稼働病床)	9 0 . 0 %																																																													
	病床稼働率 (対稼働病床)	9 6 . 0 %																																																													
	平均患者数	2 5 0 人／日																																																													
	診療報酬単価	7 2, 5 0 0 円																																																													
	平均在院日数 (一般病棟)	8 . 5 日																																																													
	外 来	平均患者数	4 7 0 人／日																																																												
	診療報酬単価	1 4, 5 0 0 円																																																													
手術件数		2, 4 0 0 件																																																													
医療機関別係数		1 . 5 2 3 3																																																													
事 項		令和7年度実績																																																													
経常収益		9, 3 1 5 百万円																																																													
入 院	病床利用率 (対稼働病床)	7 4 . 4 %																																																													
	病床稼働率 (対稼働病床)	8 0 . 6 %																																																													
	平均患者数	2 4 4 . 8 人／日																																																													
	診療報酬単価	7 2, 8 4 3 円																																																													
	平均在院日数 (一般病棟)	9 . 9 日																																																													
	外 来	平均患者数	4 4 7 . 7 人／日																																																												
	診療報酬単価	1 4, 1 4 8 円																																																													
手術件数		2, 7 7 1 件																																																													
医療機関別係数		1 . 5 2 4 3																																																													
	(2)	費用の合理化 人件費については、業務の改善・効率化に努め、適正な人員管理及び人事配置により人件費の適正化を図る。 材料費及び経費については、薬品及び診療材料等の購入品目や量、単価の見直し、院内在庫の量及び管理の適正化、既存の外部委託等の見直しや多様な契約手法の活用などにより、徹底して費用の合理化を図る。 また、効率的な予算執行により徹底したコスト管理を行い、関係規程等を適切に運用するとともに、職員のコスト意識を向上させる。	費用の合理化 人件費については、適正な人員管理及び人事配置により人件費の適正化を図った。 医業収益における材料費については、物価高騰による調達コスト上昇の影響を受けるなか、診療材料委員会による協議や医薬品等の棚卸しによる在庫管理の適正化を図った。 経費については、物価高騰による影響を踏まえつつ、委託内容の見直しや入札による価格抑制により経費の抑制に努めた。 費用全体としては、患者数の増加や物価高騰の影響により増加となったが、予算管理のもと病院全体で経費削減に取り組んだ。 なお、ジェネリック医薬品については、薬剤の供給不足の中においても積極的な採用を継続した。	3																																																											

			<table><tr><td></td><td>令和6年度</td><td>令和7年度</td></tr><tr><td>医業費用</td><td>9, 3 6 4百万円</td><td>9, 7 2 8百万円</td></tr><tr><td>内訳 給与費</td><td>4, 7 6 2百万円</td><td>5, 0 1 5百万円</td></tr><tr><td>材料費</td><td>1, 8 9 5百万円</td><td>1, 8 9 1百万円</td></tr><tr><td>経費</td><td>2, 1 0 2百万円</td><td>2, 2 0 1百万円</td></tr><tr><td>その他</td><td>6 0 5百万円</td><td>6 2 1百万円</td></tr></table>		令和6年度	令和7年度	医業費用	9, 3 6 4百万円	9, 7 2 8百万円	内訳 給与費	4, 7 6 2百万円	5, 0 1 5百万円	材料費	1, 8 9 5百万円	1, 8 9 1百万円	経費	2, 1 0 2百万円	2, 2 0 1百万円	その他	6 0 5百万円	6 2 1百万円									
	令和6年度	令和7年度																												
医業費用	9, 3 6 4百万円	9, 7 2 8百万円																												
内訳 給与費	4, 7 6 2百万円	5, 0 1 5百万円																												
材料費	1, 8 9 5百万円	1, 8 9 1百万円																												
経費	2, 1 0 2百万円	2, 2 0 1百万円																												
その他	6 0 5百万円	6 2 1百万円																												
		〈関連する計画数値〉 <table><tr><td>事 項</td><td>令和7年度計画</td></tr><tr><td>経常費用</td><td>1 0, 3 7 5百万円</td></tr><tr><td>医業収益対材料費率</td><td>2 3. 4 %</td></tr><tr><td>医業収益対経費率</td><td>2 5. 9 %</td></tr><tr><td>医業収益対職員給与費率</td><td>6 4. 5 %</td></tr><tr><td>ジェネリック医薬品使用率</td><td>9 0. 0 %</td></tr></table>	事 項	令和7年度計画	経常費用	1 0, 3 7 5百万円	医業収益対材料費率	2 3. 4 %	医業収益対経費率	2 5. 9 %	医業収益対職員給与費率	6 4. 5 %	ジェネリック医薬品使用率	9 0. 0 %	〈計画に対する実績等〉 <table><tr><td>事 項</td><td>令和7年度実績</td></tr><tr><td>経常費用</td><td>1 0, 1 5 4百万円</td></tr><tr><td>医業収益対材料費率</td><td>2 3. 5 %</td></tr><tr><td>医業収益対経費率</td><td>2 7. 4 %</td></tr><tr><td>医業収益対職員給与費率</td><td>6 6. 3 %</td></tr><tr><td>ジェネリック医薬品使用率</td><td>8 6. 6 %</td></tr></table> ※職員給与費比率は、医業費用の給与費と一般管理費の給与費の合計額（5, 3 3 3百万円）から算出	事 項	令和7年度実績	経常費用	1 0, 1 5 4百万円	医業収益対材料費率	2 3. 5 %	医業収益対経費率	2 7. 4 %	医業収益対職員給与費率	6 6. 3 %	ジェネリック医薬品使用率	8 6. 6 %			
事 項	令和7年度計画																													
経常費用	1 0, 3 7 5百万円																													
医業収益対材料費率	2 3. 4 %																													
医業収益対経費率	2 5. 9 %																													
医業収益対職員給与費率	6 4. 5 %																													
ジェネリック医薬品使用率	9 0. 0 %																													
事 項	令和7年度実績																													
経常費用	1 0, 1 5 4百万円																													
医業収益対材料費率	2 3. 5 %																													
医業収益対経費率	2 7. 4 %																													
医業収益対職員給与費率	6 6. 3 %																													
ジェネリック医薬品使用率	8 6. 6 %																													
	(3)	経常収支・資金収支の進捗管理 経常収支・資金収支については、月単位で詳細な財務分析を行い、進捗管理を徹底する。	経常収支・資金収支の進捗管理 経常収支・資金収支について、月単位で進捗管理を徹底するとともに、執行部会議及び各部門責任者等で構成する運営会議に報告し、計画の確実な実施に向けて改善点や取組について検討及び意思決定することにより計画の達成に努めた。	4																										
4		その他業務運営に関する重要事項を達成するためとるべき措置																												
	1	財政負担の原則																												
		運営費負担金等（地方独立行政法人法第85条第1項に基づき設立団体が負担すべき経費及び同法第42条に基づき設立団体が交付できる金額をいう。以下同じ。）は、「地方独立行政法人法等の施行に係る公営企業型地方独立行政法人の取扱いについて（平成16年4月1日総財公第39号総務省自治財政局公営企業課長通	・財政負担の原則のとおり不採算経費に充当した運営費負担金の額 総 額： 6 3 1, 9 4 9, 0 0 0円 東金市： 4 8 4, 9 8 1, 0 0 0円 九十九里町：1 4 6, 9 6 8, 0 0 0円																											

		知)」中、「第一 設立団体が負担すべき経費等について」に定められた基準により、救急医療、災害時医療等の政策医療に係る経費及び高度医療、小児医療、周産期医療等の不採算経費に充てる。 なお、長期借入金等元利償還金に充当する運営費負担金等については、経常費助成のための運営費負担金等とする。 また、設立団体からの長期借入金を財源とした医療機器の整備については、設立団体の財政負担が伴うことを十分に考慮した上で、投資効果、地域の医療需要、医療技術の進展等を総合的に勘案し、中長期的な投資計画を策定の上、計画的な整備及び更新を行うとともに効果的に活用する。	・長期借入金等元利償還金に充当した運営費負担金の額 総 額： 301,708,656円 東金市： 237,127,404円 九十九里町： 64,581,252円 ・設立団体からの長期借入金を財源とした医療機器の整備の額 該当する医療機器の整備は行っていない。																			
	2	地域に対する広報		4																		
		ホームページ、広報紙、各種メディアの活用や公開講座の開催などにより、メディカルセンターの理念や役割、地域医療機関との役割分担や適正利用など、病院運営に関する情報を提供することで、その普及啓発を行う。 ＜関連する計画数値＞ <table><tr><th>事 項</th><th>令和7年度計画</th></tr><tr><td>広報紙発行</td><td>4回</td></tr><tr><td>設立団体の広報紙へのコラム等の掲載</td><td>10回</td></tr><tr><td>公開講座（再掲）</td><td>10回</td></tr></table>	事 項	令和7年度計画	広報紙発行	4回	設立団体の広報紙へのコラム等の掲載	10回	公開講座（再掲）	10回	ホームページを活用し、院内における速報性の高い情報の周知を推進した。 また、広報紙（しずく）や設立団体の広報紙にコラム等を掲載し、公開講座を開催するなど、病院運営に関する適切な情報をわかりやすく提供し、普及啓発を行った。 ＜計画に対する実績等＞ <table><tr><th>事 項</th><th>令和7年度実績</th></tr><tr><td>広報紙発行</td><td>4回</td></tr><tr><td>設立団体の広報紙へのコラム等の掲載</td><td>2回</td></tr><tr><td>公開講座（再掲）</td><td>11回</td></tr></table>	事 項	令和7年度実績	広報紙発行	4回	設立団体の広報紙へのコラム等の掲載	2回	公開講座（再掲）	11回	4		
事 項	令和7年度計画																					
広報紙発行	4回																					
設立団体の広報紙へのコラム等の掲載	10回																					
公開講座（再掲）	10回																					
事 項	令和7年度実績																					
広報紙発行	4回																					
設立団体の広報紙へのコラム等の掲載	2回																					
公開講座（再掲）	11回																					
	3	ボランティアとの協働		5																		
		ボランティア活動がしやすい環境をつくり、ボランティアとの協働による多様なサービスの向上に努める。 また、地域からのボランティアの募集及び受	ボランティアとの協働による花壇整備を行い、病院周辺の環境美化に取り組んだ。 また、ボランティアと職員によるピアノコンサートを7月及び12月の2回開催し、各回とも300人を超え	5																		

		け入れについては、新型コロナウイルスの感染状況等を踏まえて検討する。	る観客が来場するなど、地域住民との交流を深め、絆を育む機会となった。											
		＜関連する計画数値＞	＜計画に対する実績等＞											
		<table><tr><td>事 項</td><td>令和 7 年度計画</td></tr><tr><td>ボランティアによるイベント等の開催</td><td>3 回</td></tr></table>	事 項	令和 7 年度計画	ボランティアによるイベント等の開催	3 回	<table><tr><td>事 項</td><td>令和 7 年度実績</td></tr><tr><td>ボランティアによるイベント等の開催</td><td>4 回</td></tr></table>	事 項	令和 7 年度実績	ボランティアによるイベント等の開催	4 回			
事 項	令和 7 年度計画													
ボランティアによるイベント等の開催	3 回													
事 項	令和 7 年度実績													
ボランティアによるイベント等の開催	4 回													
5		予算（人件費の見積もりを含む。）、収支計画及び資金計画												
		省略（財務諸表等による。）	省略（財務諸表等による。）											
6		短期借入金の限度額												
	1	限度額												
		・ 5 0 0 百万円	令和 7 年度においては、短期借入を行っていない。											
	2	想定される短期借入金の発生事由												
	(1)	運営費負担金等の受入遅延等による資金不足への対応	同上											
	(2)	その他、偶発的な資金不足への対応												
7		出資等に係る不要財産又は出資等に係る不要財産となることが見込まれる財産の処分に関する計画												
		令和 7 年度においては、財産の処分に関する計画はない。	令和 7 年度においては、該当する財産の処分はない。											
8		第 7 に規定する財産以外の重要な財産を譲渡し又は担保に供する計画												
		令和 7 年度においては、重要な財産の譲渡等に関する計画はない。	令和 7 年度においては、重要な財産の譲渡等はない。											
9		剰余金の使途												
		剰余金が生じた場合は、病院規模の拡充、施設設備の整備、医療機器等の購入、長期借入金の償還、人材確保事業及び人材育成事業の充実に充てる。	令和 7 年度においては、左記項目の充実に充てる剰余金はない。											
10		料金に関する事項												
	1	料金	省略											
		理事長は、料金として次に掲げる額を徴収する。												
	(1)	健康保険法(大正 1 1 年法律第 7 0 号)第 7 6 条第 2 項(同法第 1 4 9 条において準用する場合を含む。)及び高齢者の医療の確保に關す												

			る法律(昭和57年法律第80号)第71条第1項の規定に基づく方法により算定した額			
		(2)	健康保険法第85条第2項(同法第149条において準用する場合を含む。)及び高齢者の医療の確保に関する法律第74条第2項の規定に基づく基準により算定した額			
		(3)	(1)及び(2)以外のものについては、理事長が別に定める額			
	2		減免	省略		
			理事長は、特別の理由があると認めるときは、料金の一部を減額し、又は免除することができる。			
11			その他設立団体の規則で定める業務運営に関する事項			
	1		施設及び設備に関する計画			
			令和7年度においては、施設及び設備に関する計画はない。	令和7年度においては、該当する施設及び設備はない。 なお、医療機器等整備委員会において整備計画を策定した。		
	2		積立金の処分に関する計画			
			令和7年度においては、積立金の処分に関する計画はない。	令和7年度においては、積立金の処分はない。		

経営強化プランに係る業務実績

経営強化プラン

項目番号			経営強化プラン	地方独立行政法人		評価委員会評価															
大	中	小	内 容	自己評価	評価	評価	評価の判断理由・評価に対するコメントなど														
4			役割・機能の最適化と連携の強化																		
	1		地域医療構想等を踏まえた当センターの果たすべき役割・機能																		
			ヘリポートを備えた救命救急センターとして幅広い救急医療を担い、高度急性期及び急性期医療を切れ目なく提供するとともに、周産期医療、小児医療の中核的施設としての使命も担っています。 更に、千葉県が策定する地域医療構想の実現に向けて、医療圏における地域完結型医療の中心的役割を担う中核病院として、また、災害拠点病院として地域医療機関との役割分担の明確化と連携強化の推進に努めます。 ＜関連する計画数値＞ 【機能別病床数（床）】 <table><tr><td></td><td>R7 年</td></tr><tr><td>高度急性期</td><td>3 2</td></tr><tr><td>急性期</td><td>2 8 2</td></tr><tr><td>回復期</td><td></td></tr><tr><td>慢性期</td><td></td></tr><tr><td>休棟等</td><td></td></tr><tr><td>計</td><td>3 1 4</td></tr></table>		R7 年	高度急性期	3 2	急性期	2 8 2	回復期		慢性期		休棟等		計	3 1 4	年度計画表（項目番号 1-7 の項） 自己評価の欄のとおり			同項評価委員会評価の欄のとおり
	R7 年																				
高度急性期	3 2																				
急性期	2 8 2																				
回復期																					
慢性期																					
休棟等																					
計	3 1 4																				

2	地域包括ケアシステムの構築に向けて果たすべき役割・機能				
	医療需要が最大化する令和7年（2025年）を目途に、厚生労働省は高齢者が住み慣れた地域で、住まい・医療・介護・予防・生活支援が一体的に提供される地域包括ケアシステムの構築を目指しています。 当センターにおいては、地域包括ケアシステムの確立のため急性期医療を提供し在宅復帰に向けたスムーズな連携促進が求められています。そのため、地域医療支援病院・紹介受診重点医療機関として地域の医療機関等との連携強化と情報共有により紹介患者への高度な医療提供を行うとともに、逆紹介を積極的に進めます。 また、地域医療支援病院として後方支援体制の整備を図ります。	年度計画表（項目番号 1-6(1)の項）自己評価の欄のとおり			同項評価委員会評価の欄のとおり
3	機能分化・連携強化における役割				
	当センターは、引き続き地域の中核的な役割を担う病院として、高度急性期、急性期に対し質の高い医療を提供するとともに、地域に不足する周産期医療、小児医療などの政策医療も担っていきます。 救急医療については、高度急性期・急性期の対象となる救急患者が圏域外に流出することが無いよう受入れ体制の強化を図ります。 また、地域における医療機関との連携強化について検証するため、紹介患者の受入れ状況の把握や分析等を行い、今後も紹介率・逆紹介率を維持できるよう推進して行きます。 なお、当センターの所有する高度医療機器の他の医療機関との共同利用の推進及び地域の医療従事者に対する研修会等を実施することにより、地域医療の更なる向上に努めます。	年度計画表（項目番号 1-6(1)の項）自己評価の欄のとおり			同項評価委員会評価の欄のとおり

4	医療機能や医療の質、連携の強化等に係る数値目標												
	<table><tr><td colspan="2">＜関連する計画数値＞</td></tr><tr><td>事 項</td><td>計画値</td></tr><tr><td>救急車搬送受入患者数</td><td>3, 200人／年</td></tr><tr><td>救急車応需率</td><td>78.0%</td></tr></table>	＜関連する計画数値＞		事 項	計画値	救急車搬送受入患者数	3, 200人／年	救急車応需率	78.0%	年度計画表（項目番号 1-1 の項）自己評価の欄のとおり			同項評価委員会評価の欄のとおり
＜関連する計画数値＞													
事 項	計画値												
救急車搬送受入患者数	3, 200人／年												
救急車応需率	78.0%												
	<table><tr><td colspan="2">＜関連する計画数値＞</td></tr><tr><td>事 項</td><td>計画値</td></tr><tr><td>紹介率</td><td>70.0%</td></tr><tr><td>逆紹介率</td><td>90.0%</td></tr></table>	＜関連する計画数値＞		事 項	計画値	紹介率	70.0%	逆紹介率	90.0%	年度計画表（項目番号 1-6(1)の項）自己評価の欄のとおり			同項評価委員会評価の欄のとおり
＜関連する計画数値＞													
事 項	計画値												
紹介率	70.0%												
逆紹介率	90.0%												
5	一般会計負担の考え方												
	地方独立行政法人法第 85 条第 1 項では、地方独立行政法人のその性質上経営に伴う収入をもって充てることが適当でない経費や、性質上能率的な経営を行ってもなおその事業の経営に伴う収入のみをもって充てることが客観的に困難であると認められる経費については、設立団体が負担するものと規定されています。 当センターへの一般会計負担についても、総務省が毎年定める繰出基準を基に行われていますが、救急医療や災害時医療等の政策医療に係る経費及び高度医療、周産期医療等の不採算経費については、病院収益だけで賄うことが難しいことから一般会計負担が必要となっています。 また、継続が想定される感染症対策や少子高齢化に伴う医療需要の変化などを踏まえ、今後は、経営状況や社会情勢を鑑み、設立団体と適切な予算措置について協議を行っていきます。 当センターとして、本プランを推進し、経済性を発揮できるよう経営強化に努めます。	年度計画表（項目番号 4-1 の項）自己評価の欄のとおり											

6		住民の理解のための取組								
		これまでと同様に、地域住民に対し当センターが提供する医療サービスに関する取り組みを積極的に情報発信していくほか、診療情報については、リアルタイムに情報提供していきます。	年度計画表（項目番号 1-5(1)の項）自己評価の欄のとおり			同項評価委員会評価の欄のとおり				
		また、医療に関する専門分野の知識や情報を活用し、住民対象の公開講座の定期開催や広報活動等により保健医療情報を発信し、住民の医療や健康に対する意識の向上を図ります。	年度計画表（項目番号 1-5(4)の項）自己評価の欄のとおり			同項評価委員会評価の欄のとおり				
		＜関連する計画数値＞<table><tr><td>事 項</td><td>計画値</td></tr><tr><td>住民からの意見・要望の検証</td><td>6 回／年</td></tr></table>	事 項	計画値	住民からの意見・要望の検証	6 回／年	年度計画表（項目番号 1-5(1)の項）自己評価の欄のとおり			同項評価委員会評価の欄のとおり
事 項	計画値									
住民からの意見・要望の検証	6 回／年									
		＜関連する計画数値＞<table><tr><td>事 項</td><td>計画値</td></tr><tr><td>患者満足度調査（医師の症状・治療内容等の説明に係る満足の割合）</td><td>9 2 . 0 %以上</td></tr></table>	事 項	計画値	患者満足度調査（医師の症状・治療内容等の説明に係る満足の割合）	9 2 . 0 %以上	年度計画表（項目番号 1-4(2)の項）自己評価の欄のとおり			同項評価委員会評価の欄のとおり
事 項	計画値									
患者満足度調査（医師の症状・治療内容等の説明に係る満足の割合）	9 2 . 0 %以上									
		＜関連する計画数値＞<table><tr><td>事 項</td><td>計画値</td></tr><tr><td>広報紙発行</td><td>4 回／年</td></tr></table>	事 項	計画値	広報紙発行	4 回／年	年度計画表（項目番号 4-2 の項）自己評価の欄のとおり			同項評価委員会評価の欄のとおり
事 項	計画値									
広報紙発行	4 回／年									
5		医師・看護師等の確保と働き方改革								
	1	医師・看護師等の確保								
		千葉大学との協定により当センター内に設置した千葉大学医学部附属病院東金九十九里地域臨床教育センターと連携し、指導医等による安定的な教育及び地域の医療需要や当センターの医療機能を維持していく中で必要な人員の確保に努めます。	年度計画表（項目番号 2-2(1)の項）自己評価の欄のとおり			同項評価委員会評価の欄のとおり				

		病院薬剤師にあつては、病棟薬剤業務やチーム医療等を中心とした業務・役割の更なる充実が求められていることから、薬学系大学へ当センターの位置付け等を広く周知し、病院薬剤師の確保を推進します。	年度計画表（項目番号 2-3 の項）自己評価の欄のとおり			同項評価委員会評価の欄のとおり										
		また、質の高い看護を提供し円滑な病棟運営を実現するため、看護師養成機関への訪問、病院見学会の開催、病院実習の受入れ、奨学金貸付制度の実施、ホームページ等を活用した広報活動などにより、当センターの魅力を広く周知し、安定した医療従事者の確保を図ります。	年度計画表（項目番号 2-2(3)の項）自己評価の欄のとおり			同項評価委員会評価の欄のとおり										
		<table><tr><td colspan="2">＜関連する計画数値＞</td></tr><tr><td>事 項</td><td>計画値</td></tr><tr><td>指導医数</td><td>3 4 人</td></tr></table>	＜関連する計画数値＞		事 項	計画値	指導医数	3 4 人	年度計画表（項目番号 2-2(1)の項）自己評価の欄のとおり			同項評価委員会評価の欄のとおり				
＜関連する計画数値＞																
事 項	計画値															
指導医数	3 4 人															
		<table><tr><td colspan="2">＜関連する計画数値＞</td></tr><tr><td>事 項</td><td>計画値</td></tr><tr><td>医師数</td><td>6 8 人</td></tr></table>	＜関連する計画数値＞		事 項	計画値	医師数	6 8 人	年度計画表（項目番号 2-2(2)の項）自己評価の欄のとおり			同項評価委員会評価の欄のとおり				
＜関連する計画数値＞																
事 項	計画値															
医師数	6 8 人															
		<table><tr><td colspan="2">＜関連する計画数値＞</td></tr><tr><td>事 項</td><td>計画値</td></tr><tr><td>看護師数</td><td>3 2 8 人</td></tr><tr><td>看護師養成機関への訪問</td><td>1 5 校／年</td></tr><tr><td>看護師離職率</td><td>1 1. 5 %以下</td></tr></table>	＜関連する計画数値＞		事 項	計画値	看護師数	3 2 8 人	看護師養成機関への訪問	1 5 校／年	看護師離職率	1 1. 5 %以下	年度計画表（項目番号 2-2(3)の項）自己評価の欄のとおり			同項評価委員会評価の欄のとおり
＜関連する計画数値＞																
事 項	計画値															
看護師数	3 2 8 人															
看護師養成機関への訪問	1 5 校／年															
看護師離職率	1 1. 5 %以下															
2		臨床研修医の受入れ等を通じた若手医師の確保														
		優秀な医師を確保し高度急性期医療水準の維持を図るため、千葉大学医学部附属病院東金九十九里地域臨床教育センターと連携し、平成 29 年度より協力型臨床研修病院として千葉大学医学部附属病院より臨床研修医の受入れを行っています。その後、国立病院機構千葉医療センター、医療法人千葉中央メディカルセンターからも臨床研修医の受入れを行っています。その実績を活かし、令和 7 年度からの指定を受けるべく令和 5 年度中に基幹型臨床研修病院の申請を	年度計画表（項目番号 2-2(2)の項）自己評価の欄のとおり			同項評価委員会評価の欄のとおり										

		行いました。当センターが有する人材及び施設設備を活かした魅力的な研修プログラムの充実と、積極的に臨床研修医の確保・育成を図ります。 また、当センターを基幹施設とする新専門医制度専門研修プログラム（内科領域）による専攻医の受入れを実施します。									
3		医師の働き方改革への対応									
		令和6年4月1日より施行される「医師の働き方改革」においては、医師の時間外労働の上限規制をはじめとした、医師の労働時間短縮及び医師の健康、医療の質を確保するための措置が講じられることから、当センターは特定の職種（医師・看護師）の負担を軽減するため、働き方改革を進めます。 また、タスクシフト・タスクシェアを推進し、医師・看護師の業務の負担軽減に配慮した医師事務作業補助者や看護補助者を適正配置するとともに、各種専門看護師を育成し看護配置を強化することで、医師の労働時間削減に努めます。〈関連する計画数値〉 <table><tr><td>事 項</td><td>計画値</td></tr><tr><td>医師事務作業補助者数</td><td>20人</td></tr><tr><td>看護補助者数</td><td>25人</td></tr></table>	事 項	計画値	医師事務作業補助者数	20人	看護補助者数	25人	年度計画表（項目番号 2-4 の項）自己評価の欄のとおり		同項評価委員会評価の欄のとおり
事 項	計画値										
医師事務作業補助者数	20人										
看護補助者数	25人										
		また、タスクシフト・タスクシェアを推進し、医師・看護師の業務の負担軽減に配慮した医師事務作業補助者や看護補助者を適正配置するとともに、各種専門看護師を育成し看護配置を強化することで、医師の労働時間削減に努めます。〈関連する計画数値〉 <table><tr><td>事 項</td><td>計画値</td></tr><tr><td>医師事務作業補助者数</td><td>20人</td></tr><tr><td>看護補助者数</td><td>25人</td></tr></table>	事 項	計画値	医師事務作業補助者数	20人	看護補助者数	25人	年度計画表（項目番号 2-1(4)の項）自己評価の欄のとおり		同項評価委員会評価の欄のとおり
事 項	計画値										
医師事務作業補助者数	20人										
看護補助者数	25人										
6		経営形態の見直し									
		理事長のリーダーシップのもと幹部職員が病院経営の強化に意識を持ち、病院マネジメントの強化を図ります。 また、当センターの果たす役割・機能に的確に対応した、診療機能の拡充や病床の開床による収益の確保、契約の見直し等による費用の合理化を図り、更なる経営改善に努めます。	年度計画表（項目番号 3-1(1)の項）自己評価の欄のとおり		同項評価委員会評価の欄のとおり						

			＜関連する計画数値＞ <table><tr><td>事 項</td><td>計画値</td></tr><tr><td>各部門からのヒアリング</td><td>2 回／年</td></tr><tr><td>運営状況等の職員説明会</td><td>4 回／年</td></tr></table>	事 項	計画値	各部門からのヒアリング	2 回／年	運営状況等の職員説明会	4 回／年			
事 項	計画値											
各部門からのヒアリング	2 回／年											
運営状況等の職員説明会	4 回／年											
7		新興感染症の感染拡大時等に備えた平時からの取組										
		新型コロナウイルス感染症への対応において、積極的な病床確保と入院患者の受入れをはじめ、発熱外来の設置やワクチン接種等、感染拡大時に当センターは、地域において重要な役割を果たすことが改めて認識されたところです。	次のとおり			次のとおり						
	1	新興感染症の感染拡大時における地域医療機関との連携、病床等の整備										
		地域の医療機関との連携・役割分担のもと、平時より感染症に対応するため陰圧装置を設置した病床の確保により感染患者の入院要請等への対応が可能となります。	年度計画表（項目番号 1-2(4)の項）自己評価の欄のとおり			同項評価委員会評価の欄のとおり						
	2	院内感染対策の徹底・クラスター発生時の対応方針の共有										
		感染症に対応する設備の整備や感染防護具等の備蓄を計画的に行うとともに、感染制御チームや感染管理委員会が中心となり、職員に対し院内感染防止に関する教育及び啓発を実施し、感染予防へ取り組んでいます。 院内クラスター発生時の対応方針を共有化するなど、院内感染予防のシステムを組織的に確立し、安全で質の高い医療が行えるように努めます。	年度計画表（項目番号 1-4(1)の項）自己評価の欄のとおり			同項評価委員会評価の欄のとおり						
8		施設・設備の最適化										
	1	施設・設備の適正管理と整備費の抑制										
		当センターは開院後 10 年が経過しており、更新時期を迎える医療機器等もあります。	年度計画表（項目番号 11-1 の項）自己評価の欄のとおり									

		今後は、長期的な視点を持ち、高度な医療機器の入替・導入等に関しては、医療機器等整備委員会において整備計画の策定・見直しを適宜実施し計画性を持った整備を進めます。				
	2	デジタル化への対応 電子カルテシステムを基幹とした医療情報システムについては、令和5年度に整備を行い、マイナンバーカードの健康保険証利用（オンライン資格確認）については、患者の利便性の向上や業務の効率化に資することから令和4年度に整備しており、引き続き利用促進に努めます。 今後も更なる医療の質、サービスの向上を図るため、医療DX（デジタルトランスフォーメーション）を進めていくこととします。 また、働き方改革の推進と病院経営の効率化の観点からもデジタル化の対応を検討していきます。 なお、昨今、病院がサイバー攻撃の標的とされている事例が多いことから、職員における情報セキュリティ研修を行い、対策の強化を図ります。	年度計画表（項目番号 2-1(3)の項）自己評価の欄のとおり			同項評価委員会評価の欄のとおり
9		経営の効率化等				
	1	経営指標に係る数値目標 (1) 収支改善に係るもの 権限と責任を明確化した組織運営と、組織全体がコスト意識を持った経営を実施します。 当センターが有する人材及び施設設備を最大限に活用し、経常収支・資金収支の改善を図り、経営を安定させるためのあらゆる方策を講ずることにより、安定的な経営基盤を確立出来るよう努めます。	年度計画表（項目番号 3-1(1)の項）自己評価の欄のとおり			同項評価委員会評価の欄のとおり

		<関連する計画数値> <table><tr><td>年度</td><td>R 7</td></tr><tr><td>区分</td><td>計画</td></tr><tr><td>経常収支比率</td><td>100.2%</td></tr><tr><td>医業収支比率</td><td>97.4%</td></tr></table>	年度	R 7	区分	計画	経常収支比率	100.2%	医業収支比率	97.4%							
年度	R 7																
区分	計画																
経常収支比率	100.2%																
医業収支比率	97.4%																
(2)	収入確保に係るもの 医療制度や医療環境の変化等に的確に対応するとともに、ベットコントロールの運用強化による病床稼働率の向上、平均在院日数の短縮や、診療報酬の適正化を適宜進め、収益を確保します。 特に、地域医療機関との役割分担の明確化及び連携の強化を推進し、診療圏の拡大や重症患者をはじめとする入院患者等を適正に確保するとともに、早期に許可病床数 314 床のフルオープンを目指します。 <関連する計画数値> <table><tr><td>事 項</td><td>計画値</td></tr><tr><td>病床稼働率（対稼働病床）</td><td>90.0%</td></tr><tr><td>平均在院日数（一般病棟）</td><td>8.0日</td></tr><tr><td>診療報酬単価（入院）</td><td>75,850円</td></tr><tr><td>診療報酬単価（外来）</td><td>14,000円</td></tr><tr><td>DPC医療機関別係数</td><td>1.5233</td></tr></table>	事 項	計画値	病床稼働率（対稼働病床）	90.0%	平均在院日数（一般病棟）	8.0日	診療報酬単価（入院）	75,850円	診療報酬単価（外来）	14,000円	DPC医療機関別係数	1.5233	年度計画表（項目番号 3-2(1)の項）自己評価の欄のとおり			同項評価委員会評価の欄のとおり
事 項	計画値																
病床稼働率（対稼働病床）	90.0%																
平均在院日数（一般病棟）	8.0日																
診療報酬単価（入院）	75,850円																
診療報酬単価（外来）	14,000円																
DPC医療機関別係数	1.5233																
(3)	経費削減に係るもの 人件費について 働き方改革への取り組みや、生産性の向上を	年度計画表（項目番号 3-2(2)の項）自己評価の欄のとおり			同項評価委員会評価の欄のとおり												

		図る取り組みを積極的に実施し、効率的かつ効果的な人員管理及び人事配置を行い、人件費の適正化を図ります。 <u>委託及び購買業務について</u> 関係規程等を適正に運用し、透明性、公平性を確保しつつ、委託業務については、内容の見直しや入札による更新を行います。また、薬品や診療材料については、入札またはベンチマーク指標を活用し調達コストを、随時、見直します。 今後も、在庫管理を適正に行うとともに、ジェネリック医薬品を積極的に採用するなど、徹底した費用の削減に努めます。 ＜関連する計画数値＞ <table><tr><th>事 項</th><th>計画値</th></tr><tr><td>医業収益対材料費率</td><td>23.8%</td></tr><tr><td>医業収益対経費率</td><td>19.5%</td></tr><tr><td>医業収益対職員給与費率</td><td>56.5%</td></tr><tr><td>ジェネリック医薬品使用率</td><td>90.0%</td></tr></table>	事 項	計画値	医業収益対材料費率	23.8%	医業収益対経費率	19.5%	医業収益対職員給与費率	56.5%	ジェネリック医薬品使用率	90.0%			
事 項	計画値														
医業収益対材料費率	23.8%														
医業収益対経費率	19.5%														
医業収益対職員給与費率	56.5%														
ジェネリック医薬品使用率	90.0%														
	(4)	経営の安定性に係るもの ＜関連する計画数値＞ <table><tr><th>事 項</th><th>計画値</th></tr><tr><td>医師数（再掲）</td><td>68人</td></tr></table> ＜関連する計画数値＞ <table><tr><th>事 項</th><th>計画値</th></tr><tr><td>看護師数（再掲）</td><td>328人</td></tr><tr><td>看護師離職率（再掲）</td><td>11.5%以下</td></tr></table>	事 項	計画値	医師数（再掲）	68人	事 項	計画値	看護師数（再掲）	328人	看護師離職率（再掲）	11.5%以下	年度計画表（項目番号 2-2(2)の項）自己評価の欄のとおり		同項評価委員会評価の欄のとおり
事 項	計画値														
医師数（再掲）	68人														
事 項	計画値														
看護師数（再掲）	328人														
看護師離職率（再掲）	11.5%以下														
			年度計画表（項目番号 2-2(3)の項）自己評価の欄のとおり		同項評価委員会評価の欄のとおり										

2	目標達成に向けた具体的な取組			
(1)	役割・機能に的確に対応した体制の整備 持続可能な医療の提供には安定した人員体制の構築が必要です。前述した「第5章 医師・看護師等の確保と働き方改革」を進め、院内教育体制の充実と、職員が安心して働ける職場環境づくりに努めます。	年度計画表（項目番号 2-4 の項）自己評価の欄のとおり		同項評価委員会評価の欄のとおり
(2)	内部管理体制の強化と業務改善に向けた取組 内部統制推進規程やリスク管理規程等を職員へ周知徹底し、事務手続きの透明性・公平性を確保し更なる院内統制を強化していきます。 また、契約事務などの監視強化のため、契約監視委員会による調査・点検の充実と、事務部内での連携や情報共有を図り、収益の確保と費用の合理化に取り組みます。	年度計画表（項目番号 2-1(3)の項）自己評価の欄のとおり 年度計画表（項目番号 2-1(6)の項）自己評価の欄のとおり		同項評価委員会評価の欄のとおり 同項評価委員会評価の欄のとおり
(3)	外部アドバイザーの活用 当計画をはじめ、中期目標、中期計画及び年度計画に掲げる目標を着実に達成できるよう、外部の専門家等によるヒアリングを実施し、計画の進捗管理の徹底に努めます。 特に、経常収支・資金収支、医療体制を常に検討し、医療需要への的確な対応、更には診療報酬上の適正な請求が行われるよう外部アドバイザーを活用し、技術的な支援、職員への個別ヒアリング等の結果を踏まえ、必要な見直しを適宜実施します。	年度計画表（項目番号 2-1(6)の項）自己評価の欄のとおり		同項評価委員会評価の欄のとおり